明治四年未

見聞雜集 壹

特別
14
696
95

696
95

第二
朝廷より[illegible]
[illegible]

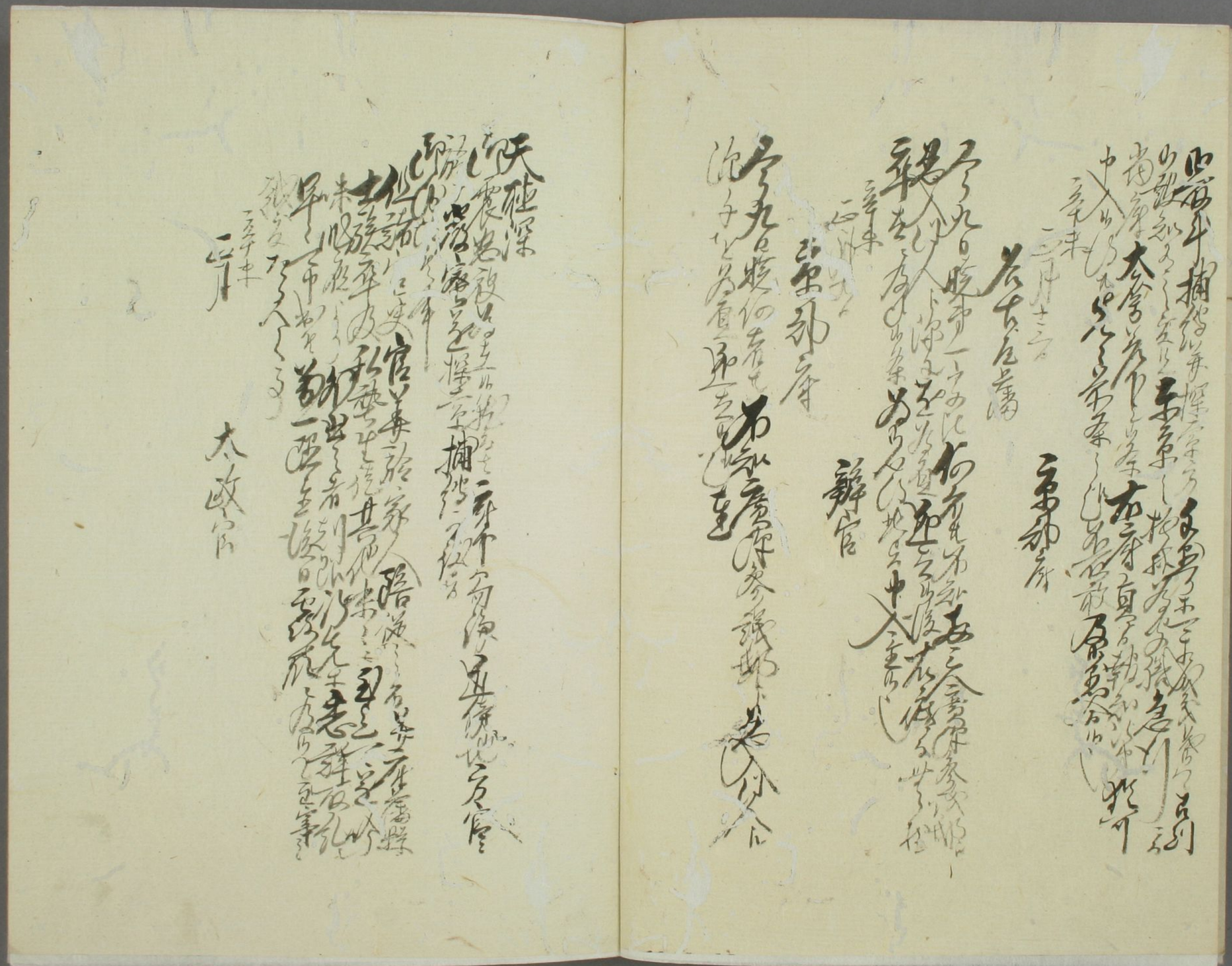
辛未
正月　若松屋藤兵衛

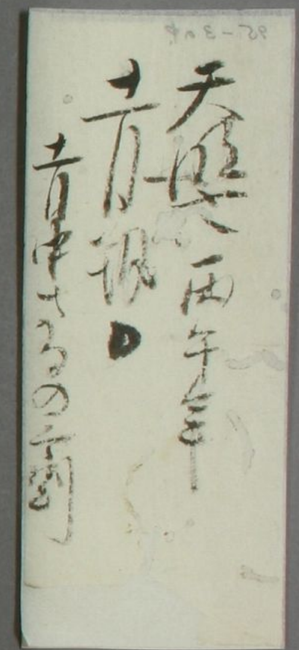
去九日暁参議広沢兵助殿何者共不知忍入[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

辛未
正月　若松屋藤兵衛

別紙[illegible]東京[illegible]
[illegible]
[illegible]東京[illegible]

去九日暁何者共不知[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]





○博多南部船　来ル廿二日発船

東京　大阪　長崎　横浜　神戸　清港

慈氣丸荷物取扱　廻漕会所社

○只今醤油上荷積仕候間　井澤屋

英奥州船　来ル廿日発船

東屋

洞庭春色

列製
黄鶏

○寄四十日 傳馬所西 一家公衡落所

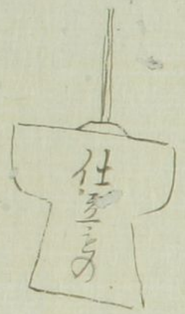
一洋酒類 各銘
サンパン 三蓬酒 リキュル 苗香酒
ビール 啤酒 ブランデイ 燒酒
ゾドウ 葡萄酒 ジン 杜松子酒
セリヤク 櫻酒 ヲルトカ

一洋菓子類 并砂糖漬物
一ランプ類 并石炭油
一洋小間物類 雜品

右 [illegible]

要

○袖形の[illegible]東南側
[illegible]



[illegible]
寶永八年 [illegible]
[illegible]

長[illegible]
[illegible]

○美ノ橋番東ヨリ北側　福寿司

地　紺　白

一　箱詰　折詰

流　すし

○橋ノ西番北ヨリ北側

西すし

○前後ノ番地主ノ長右衛門ヨリ南側

地　白　黒　地　紺　白

江戸　玉すし

二見すし

○霍乱ノ番新長右衛門ヨリ南側

うな　蒲焼

おべ

○橋ノ北番東ヨリ西側

地　白

つまみ　なんこ

○美ノ橋番東ヨリ長右衛門ヨリ南側

きよ　川すし

橋本屋　松三郎　鮮魚

西ヨリ　新橋料理　鮮魚

蓮葉　鮮魚

海川亭　鮮魚　たこの鮮

市ノ弁長右衛門霍乱ノ番ヨリ南側

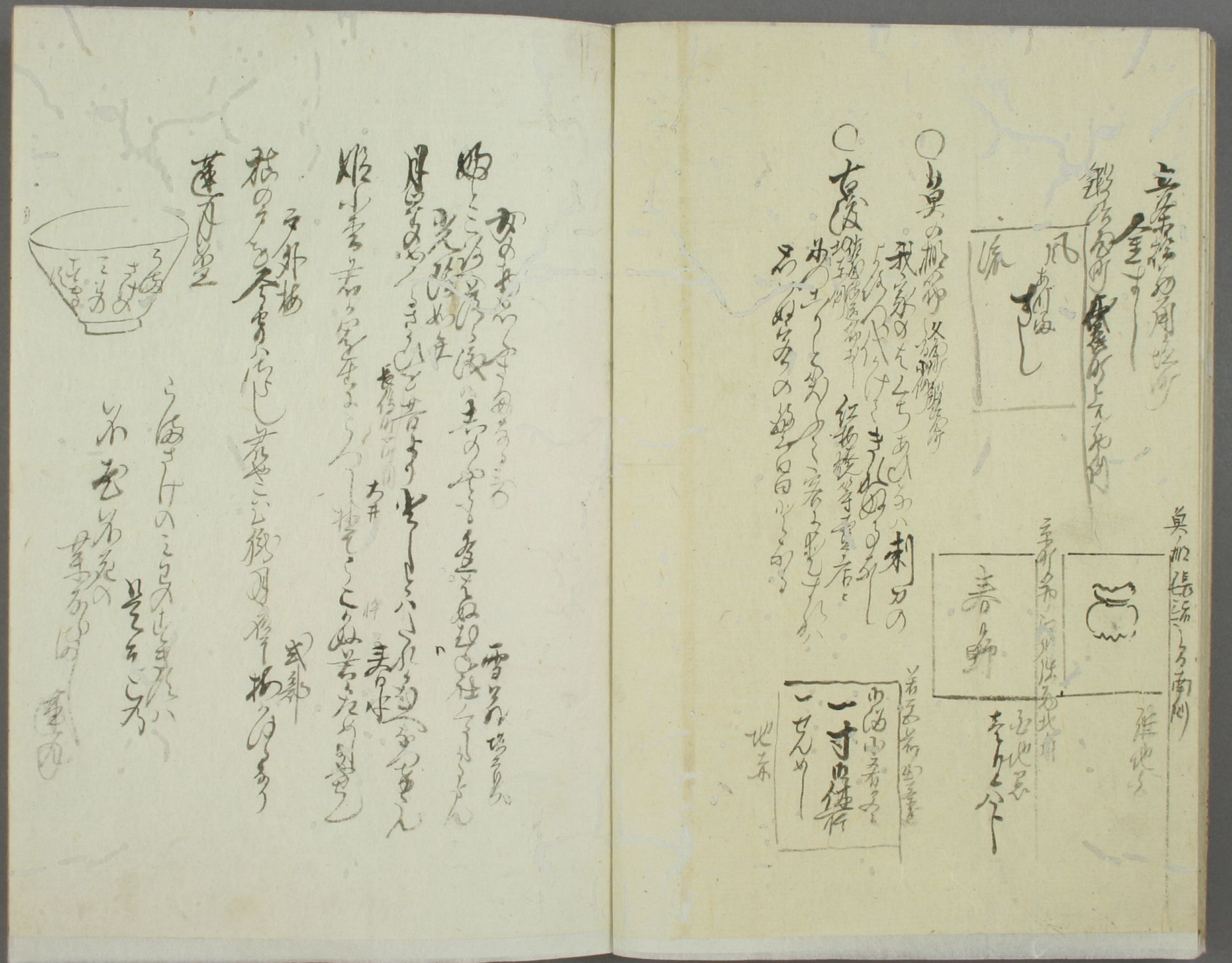
蒲焼

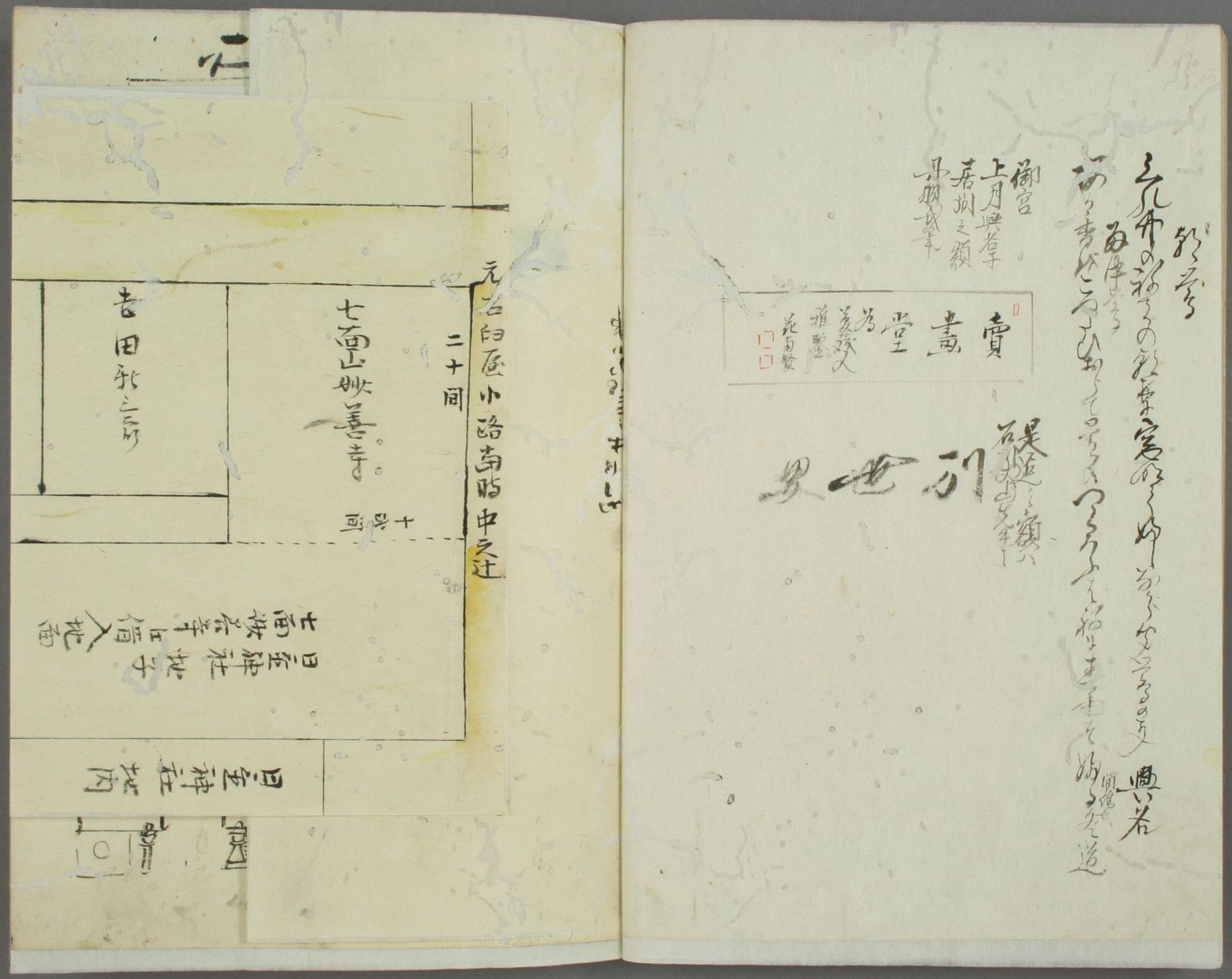
ヤ　長右衛門

二軒　為時或ハ[illegible]

長右衛門　霍乱ノ番　十九軒　東側

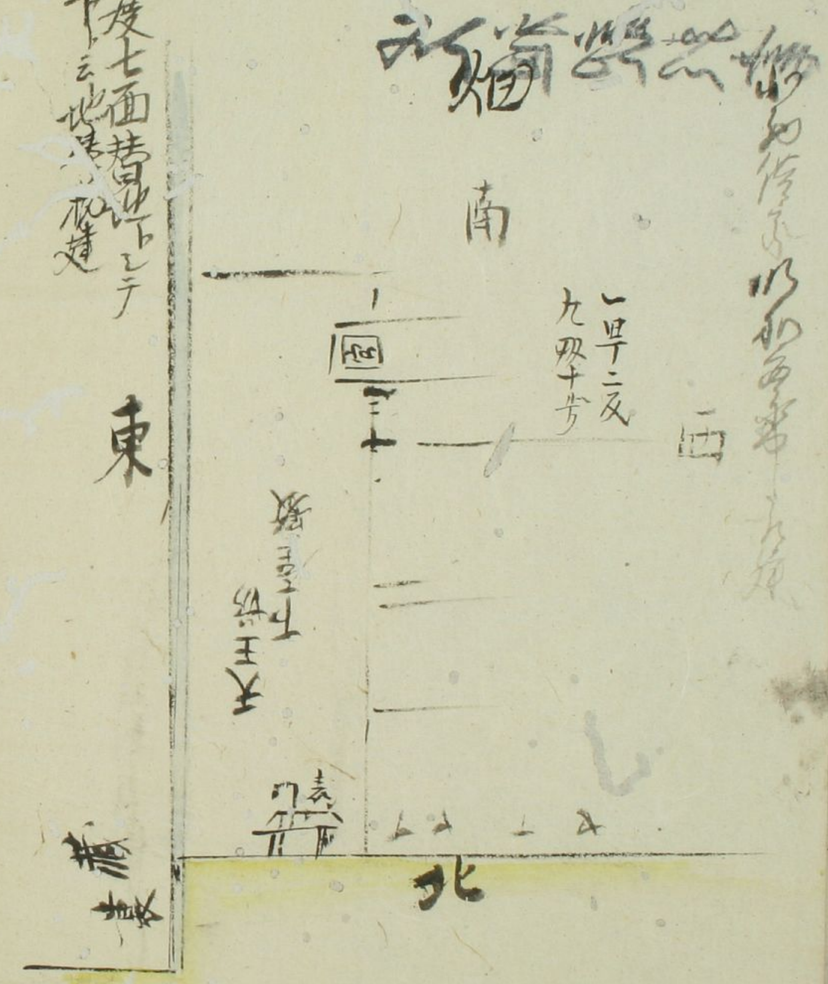
東側　御濠ヨリ[illegible]

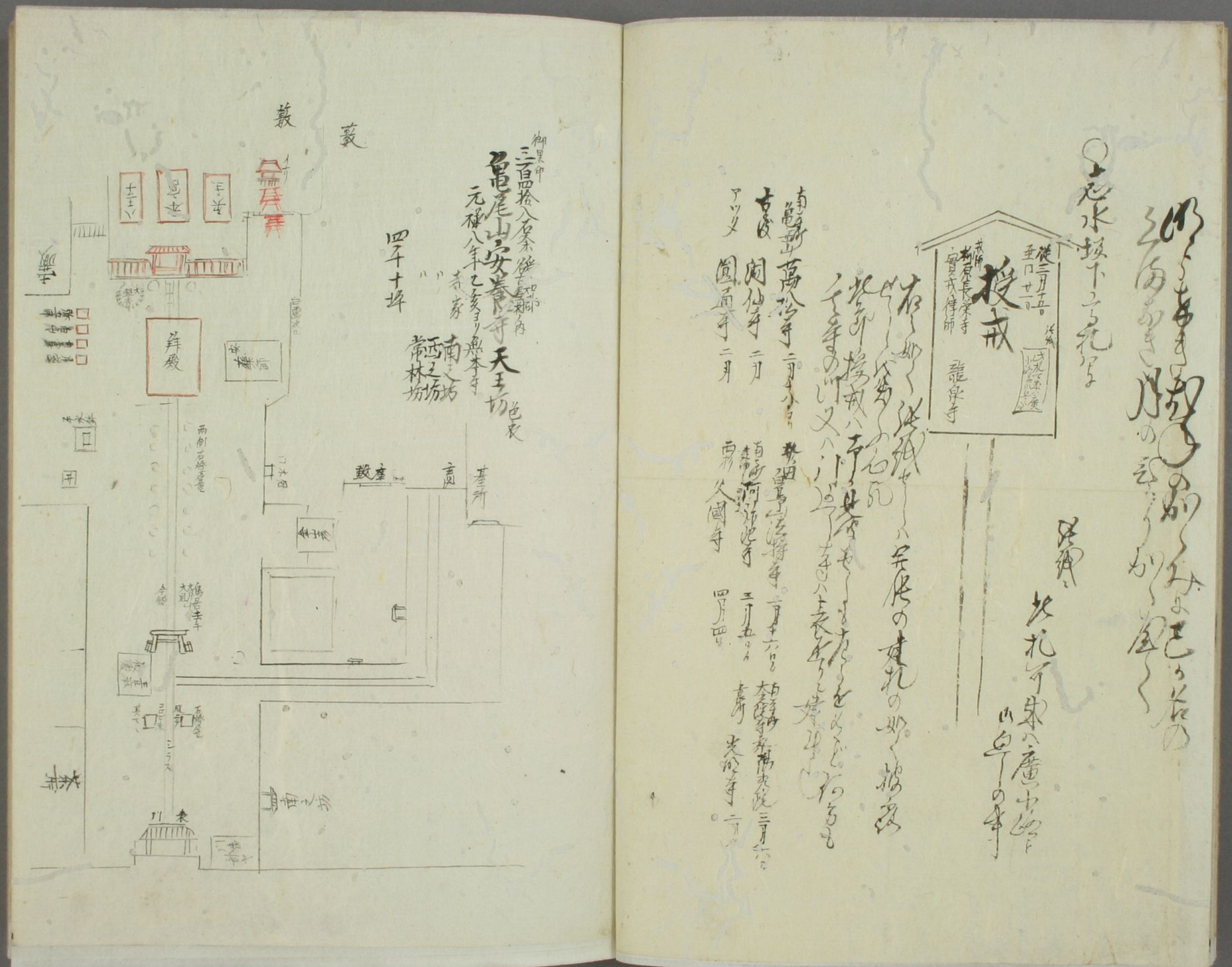



二十間
七面山妙善寺
十間
吉田新之助
元石臼屋小路南時中之辻
日蓮神社
日蓮神社
日蓮神社
御宮
上月世若子
居所之額
月桂堂
賣
畫
堂
為
義孝
雅墨
花月賢

元石白屋小路南北中之辻
二十間
七面山妙善寺
十間
吉田新之丞
板屋与三郎
板屋与三郎
入口
吉田新之丞
池
まくわ作兵衛
畑
地子

七西山妙善寺
西
堅
鐘
南
東


南
東
北
一畝二反
九拾七歩


亀尾山安養寺
天王坊
四千十坪
拝殿
表
裏
裏
産
貴
鼓

興福寺略記 元禄廿年 夏五月 今天王坊安養寺の本尊台座及大檀の目録を進ず

聞惟筆記

天王の鎮座は延喜の御代なり 昔八幡の宮廣く寺を建て寺を小野村 清貫の御代に西の志水果の人吉隆の木の下に天王の宮を建て 今の御代に梅の内なりと 入れ人今の御代に地を移す 本は寺の内なり 天王の宮の西に九反の地 東は八幡宮の 光文の御代に 天王の宮を八幡宮の内に移す 光文の御代に京都の男山八幡宮の内に勧請 今八百年 天王の宮遠く移り 神輿若宮 七院天神 天王の梅の内なり 清貫の御代に 清貫の御代に 清貫の御代に

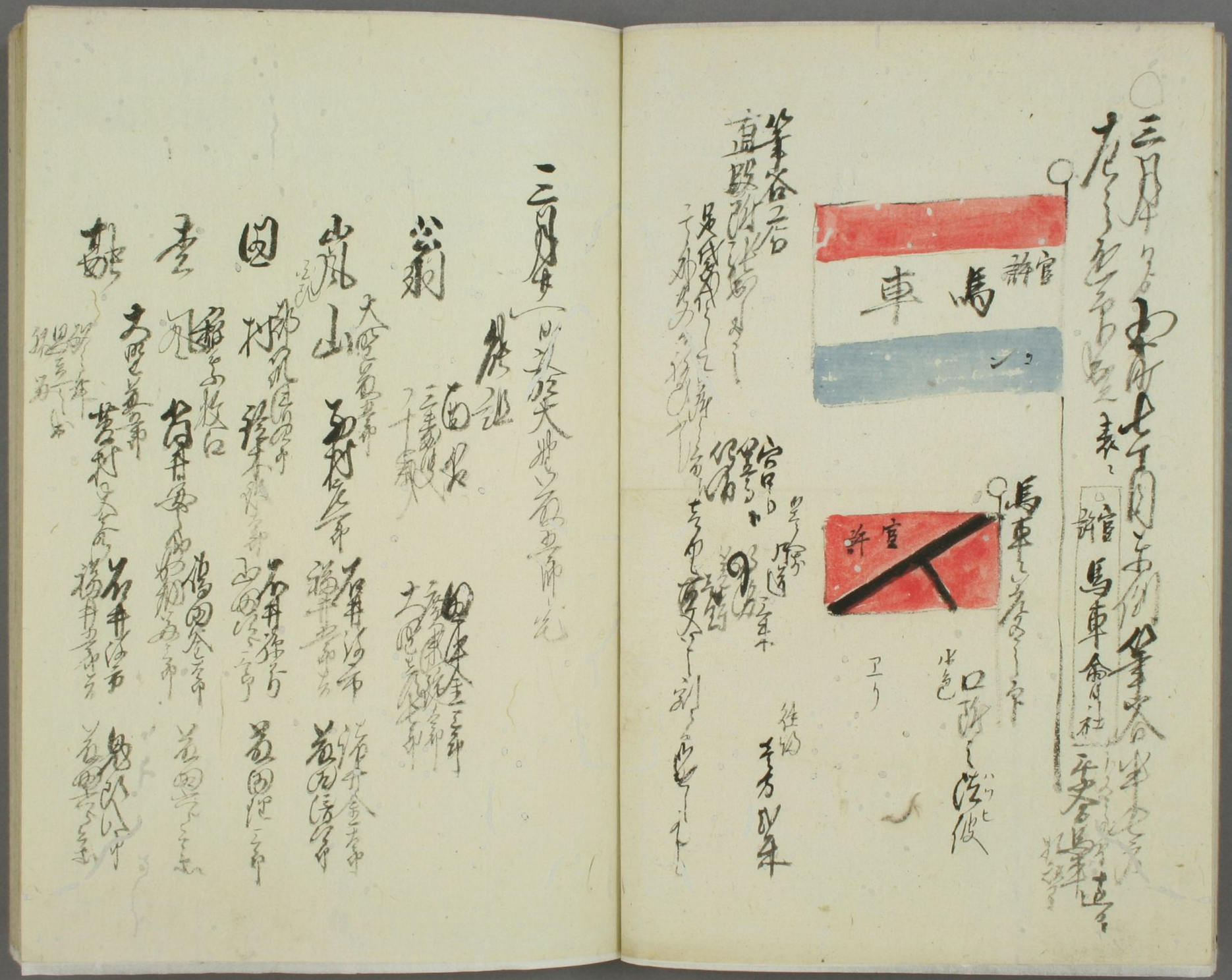
家系 勝信記 藤原氏

龍尾山安養寺天王社 皆花後 竟孫 文筆子 竟美良上人 中村 常陸介 秀吉 竟美良の 師兄竟瑜 若宮の一院弥勒院を再興 往僧 龍尾山安養寺の縁記を作る 後竟義 勢田 二階堂院を建て 其跡を南の坊と云

龜尾山

陳盤

安養


官許
馬車
官許
馬車會社

野

歌

言

舞生

狐塚

石神

翁

志賀

敦

伯

大

鍋八撥

弓矢

以上

○二月廿五日　日本橋　花の仮屋　[illegible]

[illegible]

○[illegible]

大名の

[illegible]

[illegible]

○山陵上書

天下ノ大患ハ君義名分ノ不明ニ在リ其義名分ノ不明ニ
陵ハ上ヲ犯シ臣ハ君ヲ犯シ者有リ此ノ如キ者ハ
下一日モ保ツヲ得ス如是者ハ
王政ノ決テ行ハレス容ル所ナキ者ナリ本所ハ敬ヲ奉ス
義ノ所ニ在リ正ニ是レ
朝害ノ名ヲ除ク
所国是ヲ
朝廷ノ威ヲ
不得ト御所中上者ハ
賊魁ノ刑天
下ノ弊ヲ
正ス
朝政横
何
頑迷
主張

御国見

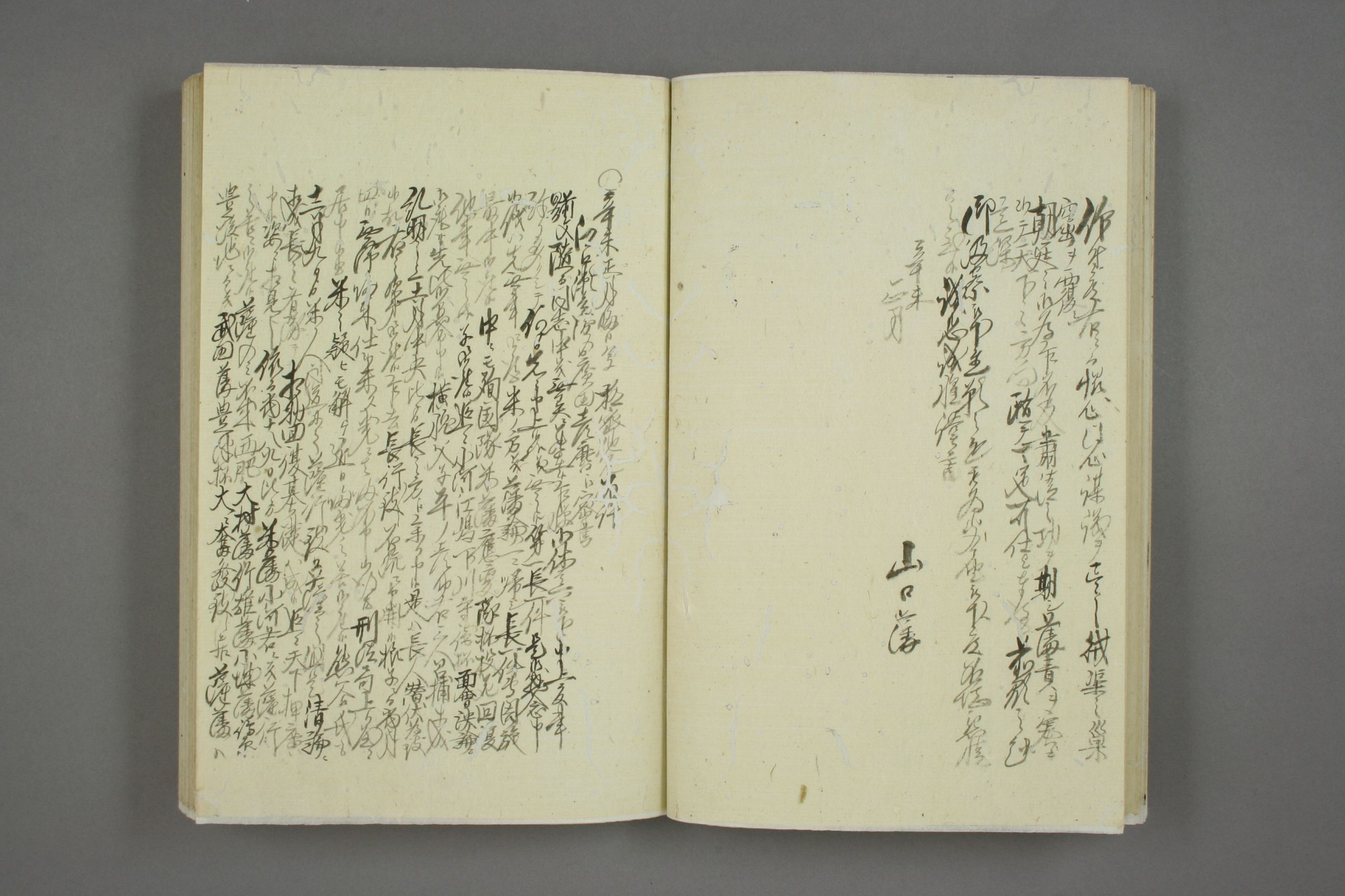
朝廷

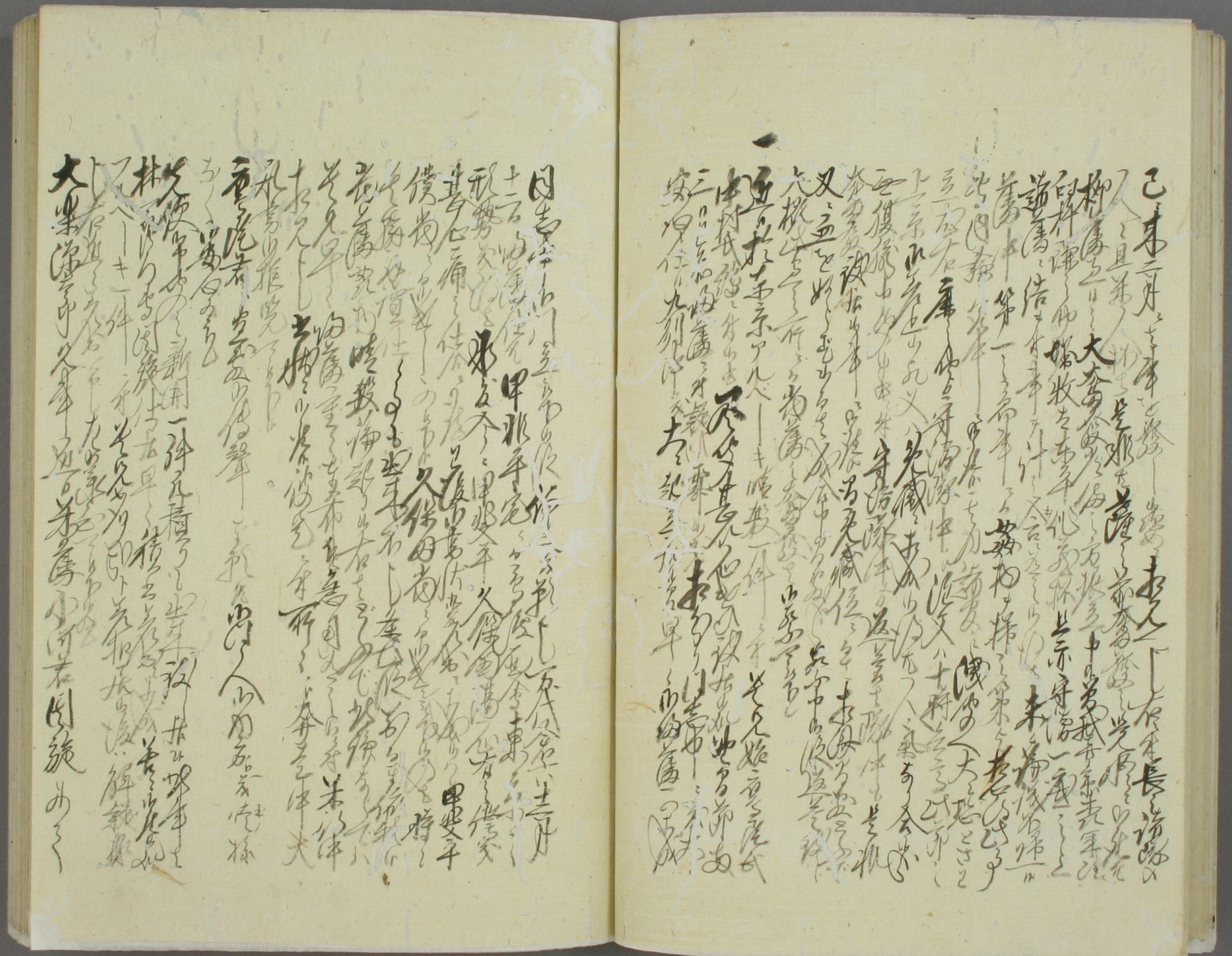
朝廷

朝廷

朝政

朝廷





十月十七

廣田大夫

右筆書ハ廣澤ノ暗殺ノ前日ニ東京ニ著シ
右ノ列ニ拾名ノ相迫廣澤
右ノ件ニ書ハ山縣大夫ノ先鋒ニ大
長州ノ義士ハ大樂ヲ把ル宮家ハ大
薩藩ハ大ニ

天下回復

諸藩

山縣

大夫

弟藩

大夫

○三年未ノ歩ノ西京ノ動揺

一ニ月ニ日ニ諸藩ノ陸軍ノ模擬

廣藩ノ藩ノ三年ノ事ノ

一ニ遷都ノ止ノ事

二ニ封建ノ廃止ノ事

三ニ吳服ノ傳ノ西洋ノ

右ノ言ハ公ノ一藩ノ布告ノ

本四藩ノ連ノ

廣藩ノ

藩ノ

山縣

明治

上杉

大藩

佐原藩

上ノ月ノ十二日ノ豊後日田藩

山縣

藩軍ノ將

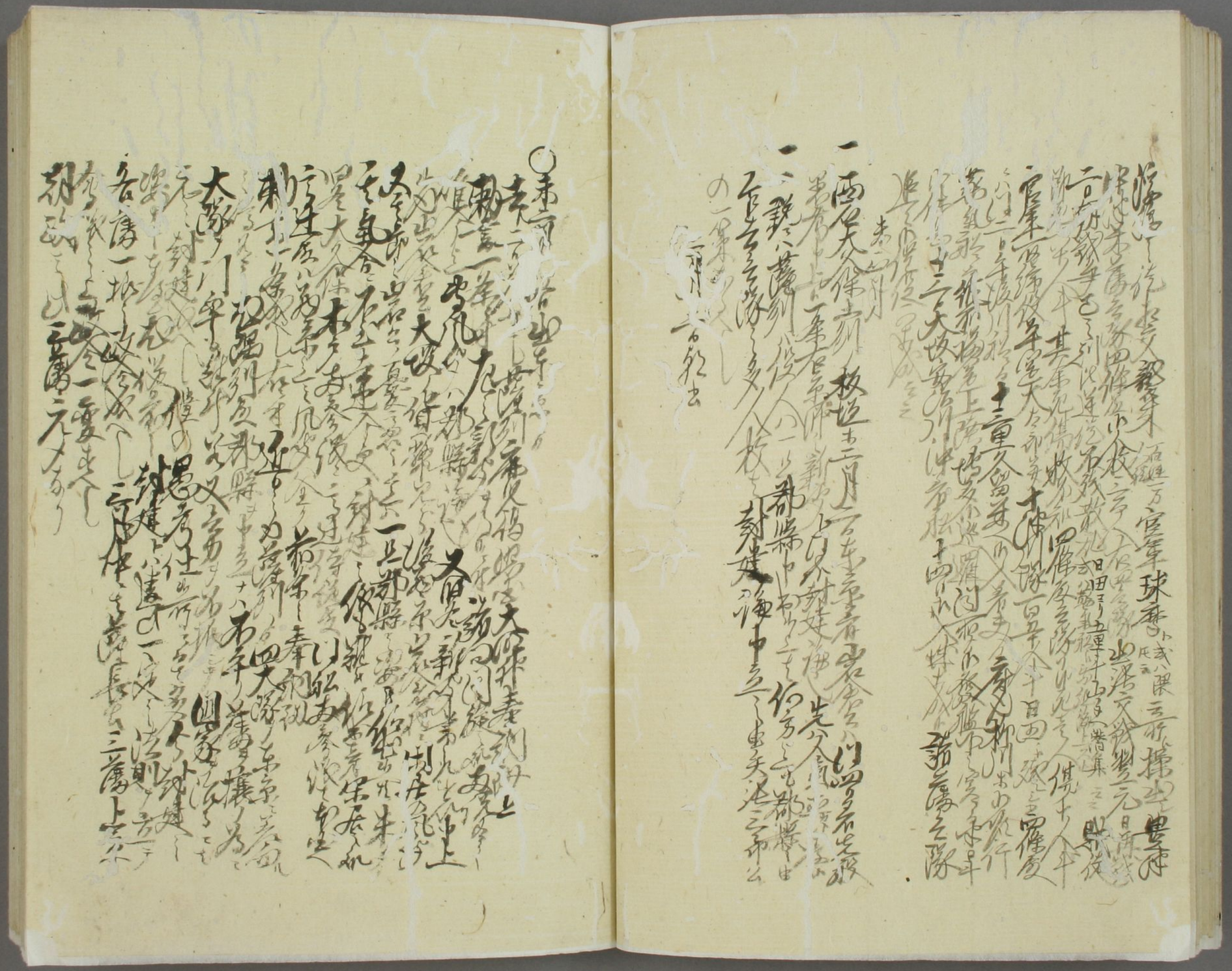
縣軍ノ

式ノ

四藩ノ

村ノ

一百姓ノ



○歐洲紀略　在留人より來書　未二月初旬傳

一佛字の状情者多端にして暇あらず　今其略を

挙げて之を言の則字毎時勝を得パリスの勝日に編入蓋し字

勝を得る所以の者他無し三人有る故也一曰ヒスパルの能政

体を扶植し二曰モルリツキ臨機の能策を投ず三曰ガーウ

勇進飛の堅を砕　其德其人其才能を兼ぬ此

数子に胸腹間に人を施し其力を長ずるを得せしむる者

才明長ト謂つべし　若夫此の術を欠かば則恐りの此に至る能

ハ之を呼て国盛衰を長ずる所以の者ハ蓋し其人に在り誠に何の疑

今三佛の寫真を来り呈す請り受賢せり

一魯英の呑噬を逞しくせんとす　久しく今魯其爪牙を逞せり蓋し聞

魯せハリトナルの盟を破り軍艦黒海に廻スリ

一パリスの食弾キを今禽獣を取テ之を食ハントス誠其多多之を憂る者誠

宮中子の所在未メ審ナラズ　音見河北等間皆其何所に在ヤ

之を在之を上野に井及ビ之を知ラズ　曰字兵の未メ

知ラズ福ハ之を前田ノ家に遊テ曰今御字相戰ふ我輩幸此に在り

是ト　所機なりこれ須く來ル心を然則共に其状情を觀察セ

書翰なり　しこれ然ル二平時栄洲にテ帰りテ其書を書ナ

佛に送テ白是不可なり何ト上ハ則我輩其親に非ス兄示宜ク

栄に　北に來ルハシト書を出ス未タ多数日ナラス字兵パリス

ヲ園に故に其書ス中を知ズ　ス後加列其パリスを出テ

國邑其地に到り戰を避ルを聞ク未タ岩下の佐何

レノ所に在ルヲ知ラスト誠其之を憂ル　然に計り出ル所ナ知ラス

諸子に語テ曰若其所在を聞カハ速に之を示ス玉ハト然ルニ今猶

未タ其所在を報ス　右ラス故に玉ハ膝下宜ク之を傳ヘ　玉ハ誠首

右ハ九月或藩の士歐洲諸國に遊歴し　青其國に在留中

書翰なり

右書翰之に其要略を言セリ　因謂佛國近年強兵各國に

於て東方を言ハ心不和に至テ勿ス尺解字國元人人材アリテ之を

薛ハ恐リハ本邦の形勢　橋ハ頗オアリ学德なし　人心乱テ諸

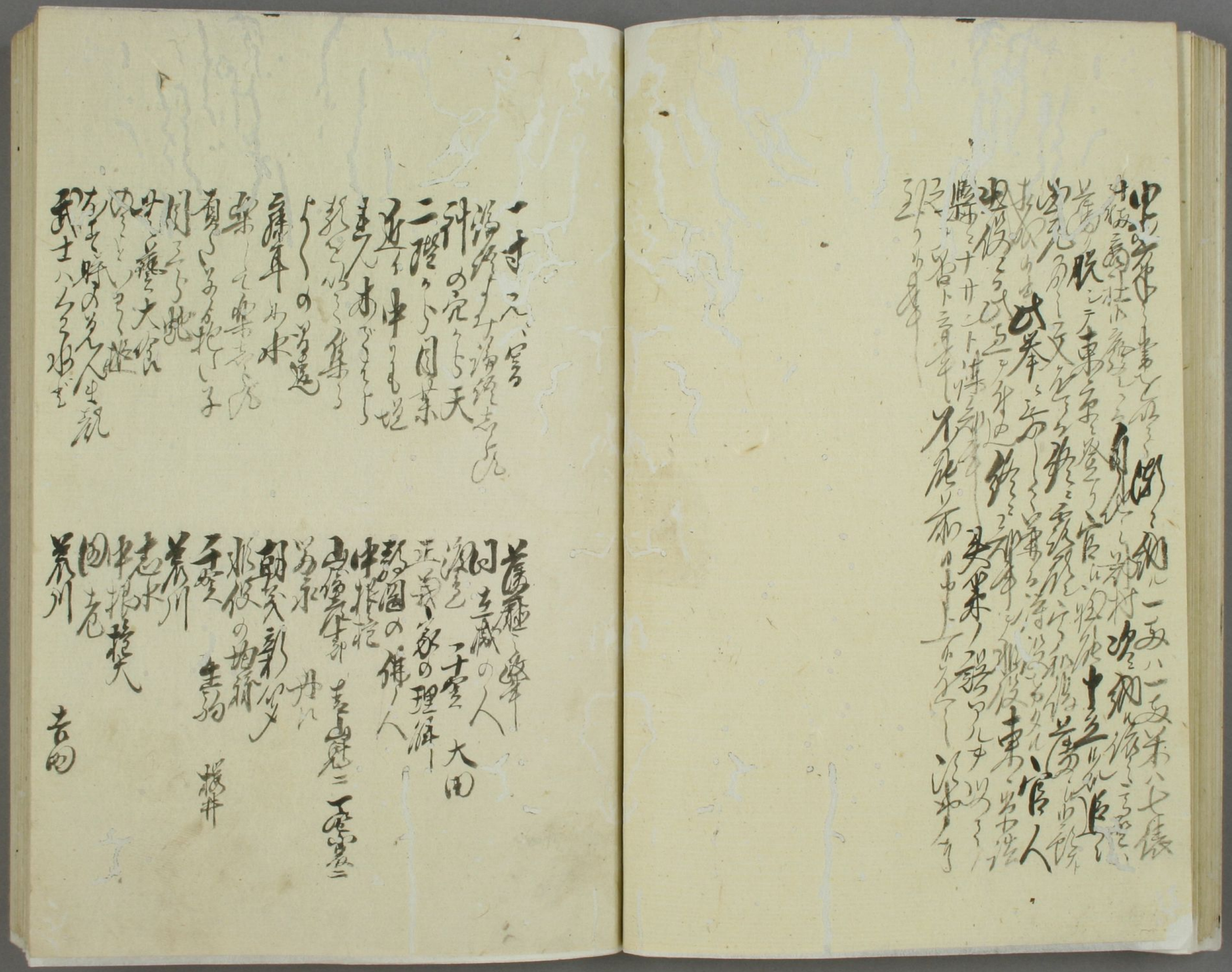
三人大久保　西郷　葉に蒼幕に亡フ恐リハ

天朝成ル北藩力に至テ又一要不遠シテ耳目を東へし實に恐レベシ

○辛未正月徳島藩知事建白

臣茂韶謹按スルニ今ヤ乾運新開
皇威振興大ニ数百年来之弊習ヲ洗除シ天下割拠ノ
政ヲ変シ万世不抜之基ヲ立ツ其名アリテ其実ナカルベカラズ
然ルニ典刑軍旅ノ政ヨリ財度庶務ニ至ルニ迄テ現今未タ之ヲ
帰一スルニ至ラス畑ル遺憾アルノミナラス夫ノ藩屏之名アル封建ノ
旧ニ入ルカ如キ今日ニ於テ此名一日モ存ス可カラス臣窃ニ惟フニ断
然藩ノ名ヲ廃シ知藩事ヲ改メテ知事トシ朝堂ニ立テ事ヲ
執ル臣下ヲシテ各藩ヲ臣轄シ其藩ヲ廃シ二三県或ハ
四五県ニ区分シ即今之正権大参事ヲ以テ其知県事トシ
其上ニ知州事ハ親ラ
聖意ヲ奉シ号令ヲ下シ知県事ハ長ヲ接シテ免サシメ毋兵ノ
儀ハ一切兵部省ニ総括シ普ク一致ノ体ニ帰セシメン事ヲ臣惟
願ニ不堪敢テ愚衷ヲ布キ伏冀クハ
聖朝審ニシテ之ヲ採択セヨ臣茂韶誠恐誠惶頓首謹言
辛未正月
右ハ徳島知事ヨリ関西各藩ヘ内示談之事

○松代藩[illegible]中上ル
[illegible]本月[illegible]長大[illegible]
松代藩[illegible]
[illegible]
[illegible]今一層[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]二割
[illegible]知事[illegible]



さらに姉君よ
身のうへをのみ思ふ
此歳のうちに参らせ給ふ
夜月たち有
盟人の云家
鬼も十八
花と咲く三歳
雨年回参らる
併一の都か二十ケ
しめて桜千氷

長谷 照扶
大津 抱
丹大
村井 捨大
中川 播守
那波の脉とき
丹 祥
朝廷の政 姉
玉井 参
老名 五大 目
秋 殺

明治三年十一月　惟

朕恭大統ヲ継ヒ夙夜憂勤雖恐皇統未
張万姓未安前途之業實不容易朕深
苦慮激又尭朕之股肱之羽翼ト可宣
朕不逮ヲ助ケ左右之輩臣ト同心戮力皇業ヲ
賛成シ朕ヲシテ傍観之積弊ニ陥ラシメ予大納言
貝視テ勅テ朕カ意ヲ告其勤之聴
右 倉 大納言

今般深叡慮ヲ以御叙一品薩州ニ被仰付候旨
聞國大殿神ニ被為掛國家無窮之御祈誓被
為在候條
御主意奉戴参拝可致上旬
御沙汰候事

庚午十二月

三條 實美
徳大寺 實則
正親町 實愛

花殿 岩井大和守 大久保参河守 赤井参代
長門守 [illegible]
王敷 [illegible] 松平 [illegible] 若狭守 八
[illegible] 松平 [illegible]
[illegible]
参り候 [illegible]
御 [illegible] 瓦 [illegible] 松本 [illegible] 若狭守
御 [illegible] 若狭 [illegible] 御 [illegible]
東 [illegible] 若狭守 [illegible] 松本 [illegible]
[illegible]

○同月廿三日 [illegible]

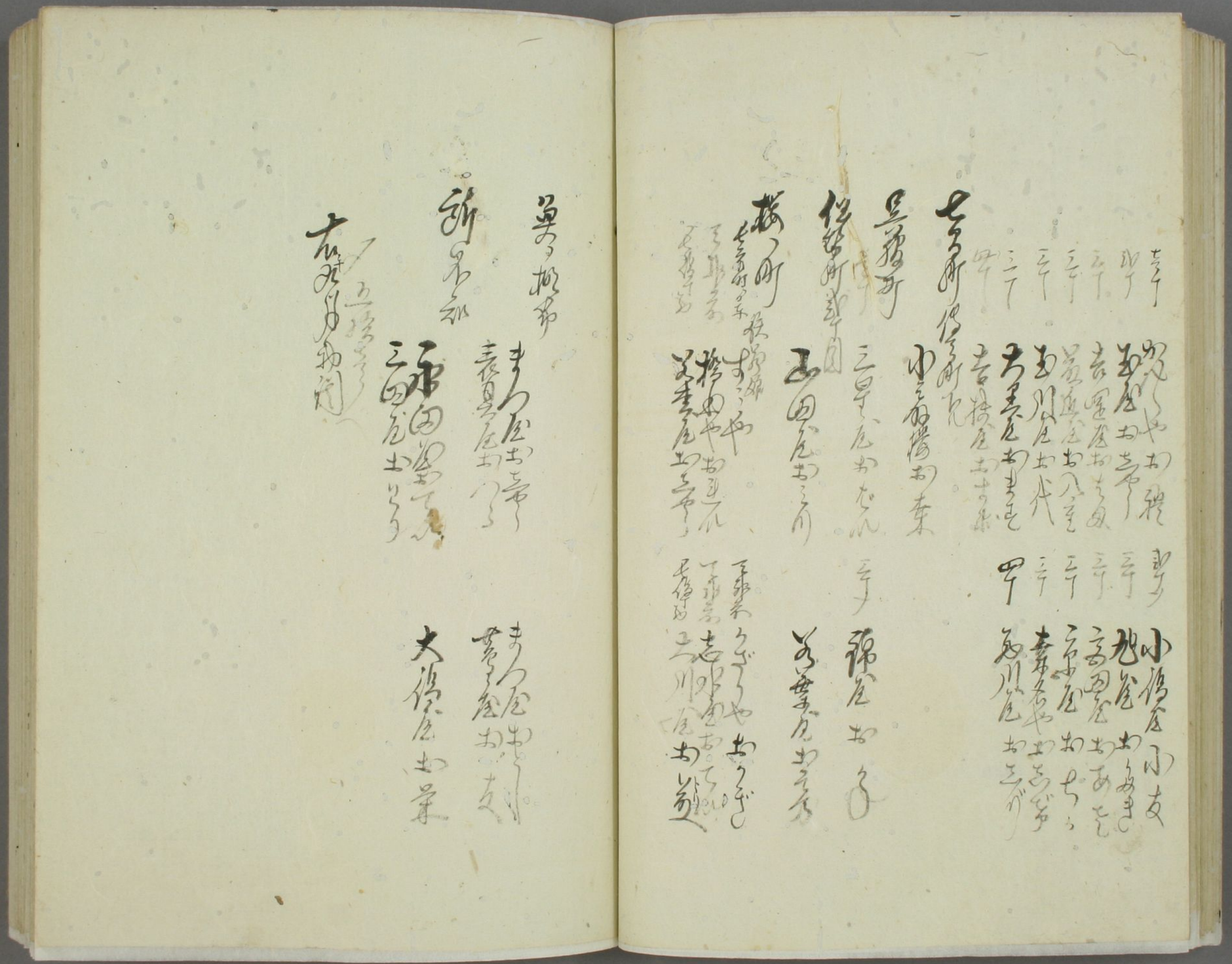
伏見町 十八日
松本屋 お京 廿一才
中川屋 お[illegible]

同国町 十八日
きく屋 おせん 十七才
松本屋 お八重
きく屋 お[illegible] 廿一才
鶴屋 おてる

京町 十七日
小国屋 お菊 廿一才
[illegible] おすて
若菜屋 おしん 廿一才
二葉屋 おきん
[illegible] 八重 十七才
鳥羽屋 おさよ
[illegible] おかつ 十七才
十代屋 おてる

長崎町 十七日
[illegible] おみよ 廿一才
二ツ葉屋 おかつ

長右町 十七日
[illegible] 屋 お[illegible] 十七才
丸屋 おすて
[illegible] 屋 お[illegible] 廿一才
[illegible]



規則

四書五經

右句讀ヲ授テ

夢求十七史之類

十八史略　元明史略　通鑑

通語　日本外史　知環啓蒙　皇朝史略

右日課トナシ　但教授一名伍ヲ分テ之ヲ管ス

外國語書之類

史記　西漢書　資治通鑑　綱鑑易知錄　玉堂綱鑑之類

通鑑綱目

右隔日課ニ人物ニ善惡事理ニ當否時勢ニ隆替ヲ考フベシ

課之

左氏傳　國語　戰國策

但助教分任管之

經義

右課ニ方ニ不得此課

但教授助教課之輪請月ニ六度ニ限ル

詩文章

右人才之高下三階ニ分チ八ニ必ス等ニ序ス

但日課ノ餘古人ノ詩文ヲ吟誦スヘシ八大家文唐宋詩醇其他元明清ノ詩文不可不讀

句讀ハ平業之者ヲ初級トス

問義ハ門中者ヲ二級トス

白文讀ハ詩文經義ノ振ヒ者ヲ得タル者ヲ三級トス

但級中上下ヲ分テ其勤惰熟不熟ノ差別ヲ為スヘシ

譬ハ初級上等生ニ三級上等生ニ二級中下之等ス

試業

史經義

詩

文

右三級二又ハ試受試者經義何史何詩文ノ體書面ヲ

以テ年ノ首月ニテ二教授ノ手ヘ差出スヘシ

試ノ日ハ教授ノ事知事ノ名在必之ニ臨ムヘシ教授助教列坐

試ニハ先ツ經義ハ講試其餘文藝書翰經記ノ問ヒ史ハ

集問論義

右試ノ上人才ニ階ヒ御選挙有之事

凡會讀詩文章トモ諸生人才力勤惰ヲ視テ品級ヲ

會讀ニ之課無故シテ月ニ四度欠席ノ者教授助教出座試業賜欠席之數此以上ハ最四月ノ輪講準右

但欠席月ニ再度ヲ限ル

寄宿生名目其寮ニ在テ勉強スヘシ從前成課席ハ

一 廃スヘ

但 教授助教 時々寮ヲ巡視シ勤情ヲ糺スヘシ

教官合同ナシ廃シ校内一區ノ場所ニ合居スヘシ 位階ノ
差別ヲ立ルヿ等ニ短簡ニシテ區ヲ合ツテ可ナリ

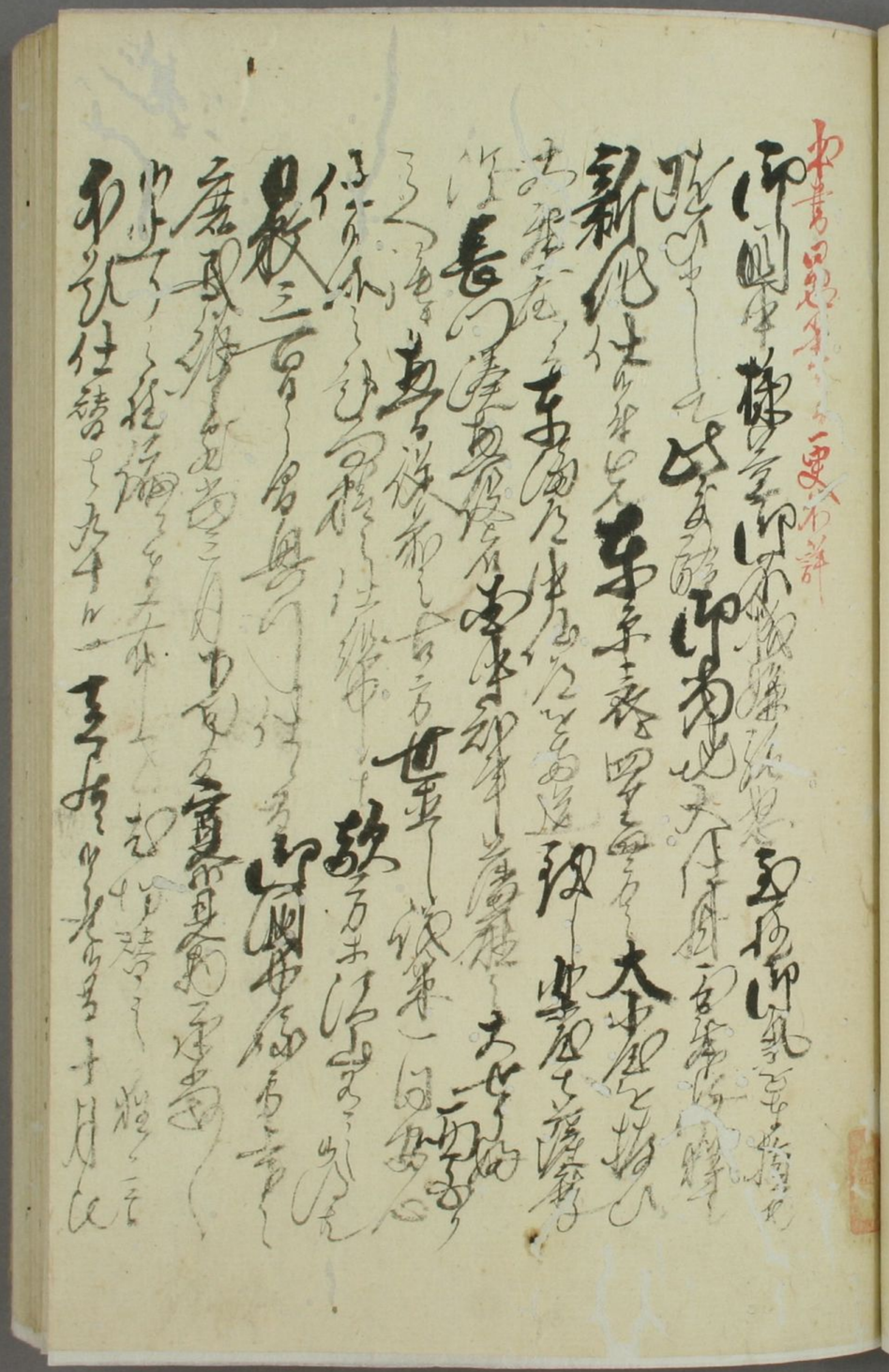
詩文會如旧

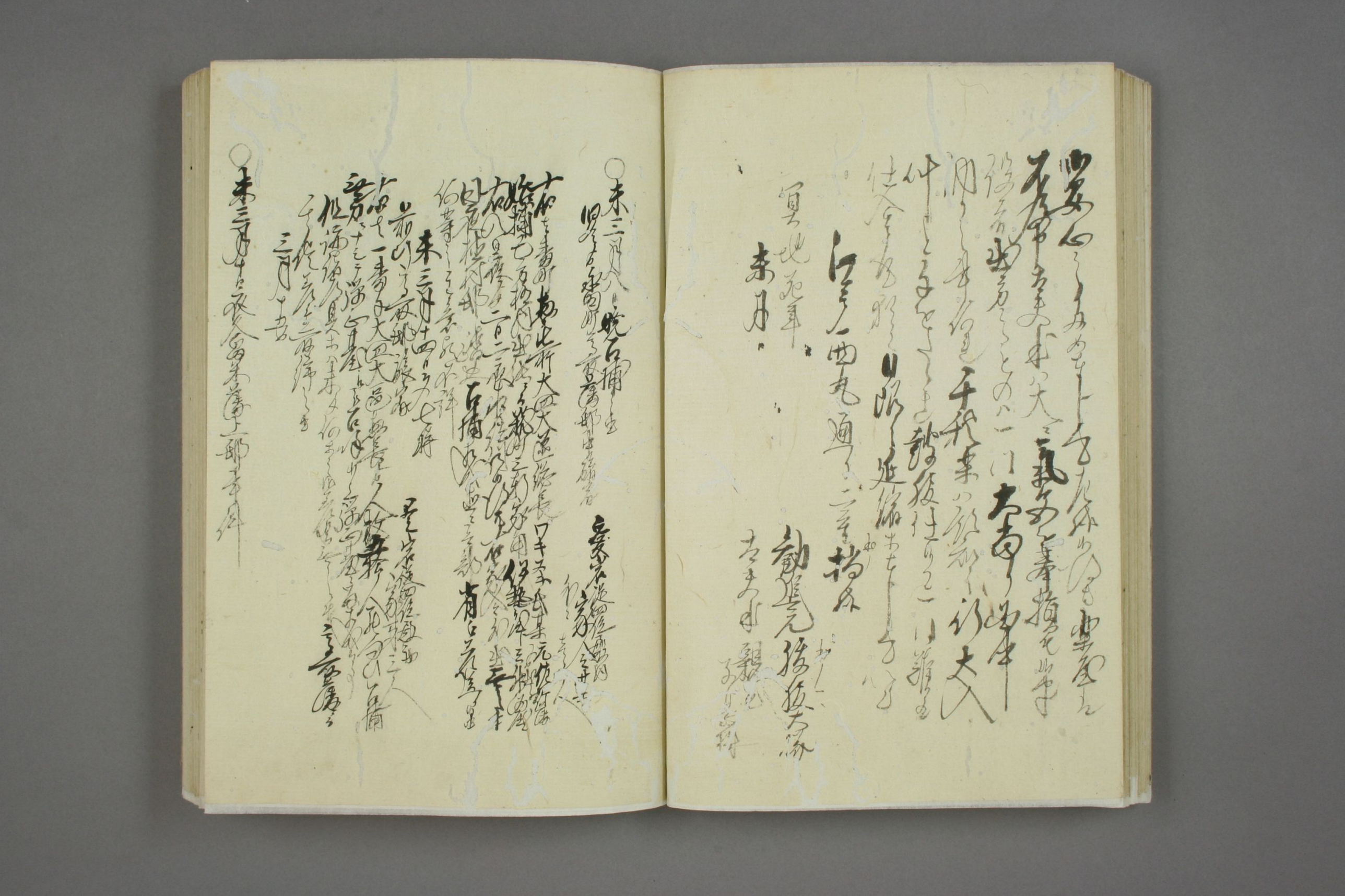
但課題ノ詩文ハ本日必差出スヘシ 掲題外ノ作
ニテモ可也

詩文點削翌月十日ヲ限ナルヘシ 月旦評ヲ以テ諸生品
級ノ進退ナスヘシ

示学校生徒

敢言ス [illegible] 自許シ大ニ為スヿ有ラン [illegible] ノ志ニ背キ一生ヲ誤ルヘカラス
浮華ノ虚文ヲ以テ一時ヲ粉飾シ 天地ヨリ [illegible] 暗
文芸 [illegible] 学問ノ大義 [illegible] 傲慢不遜 [illegible] 自是トシテ
一家流ノ私見ヲ [illegible] 孔子ニ遍ルカ如キハ 拘泥ノ派タルヲ免レサルナリ
列ニ [illegible] 頑陋ノ一法ヲ守リ長ク書物 [illegible] 丁寧ニ謹テサルヲ
得ス ○自ラ神州ノ中ニ生レ [illegible] ヲ以テ [illegible] 行ヲ有スヘシ
[illegible] 開化ノ妨ケヲナスハ 各国ノ交際ノ 今日ノ
ヘキ事 [illegible] 謹サルヲ得ス 天地間ニアル者 竹頭木屑モ [illegible]
皆ソノ用ヲナス 人ニシテ人ノ用ヲナスヿ能ハサルハ [illegible] 宜シク篤ク励シテ
皇国ノ為ニ萬分ニ [illegible] 事ヲナスヘシ [illegible] 治下ノ学ハ 性
昔ヨリ英俊ノ士輩出シ [illegible]
皇国ニ於テ [illegible] 盛且大ナリト謂ツヘシ 今ニ [illegible] 借ニ言
手ニ過ヲナス 未タ一世ヲ [illegible] 出ルハ 何事ソ [illegible]
[illegible] 今日ニ文明開化ニ趣ク
学校ノ生徒 苟モ鬚眉アル男子ニ生テ 一點 [illegible] 膽 [illegible] アラハ





○三州豊橋藩下二生三度ノ飢饉ニ
ノ如クナリテ項ハ塩買四三ノ大
塩屋相場為ニ騰ル
十八万俵ノ買高
仲買ノ人
農業重ヲ郡ノ探索中ノ由
事件談話スル商家福吉
連帯捕縛ニ其懲罰ヲ怖
クツル筆海ナラントニ
アルハ日新法式愉快ノ
移勢ナリ

○二月西京ノ学生ヨリ傳聞
西京元将軍ノ邸家将中学校ヲ設ケ熊本藩長崎良ノ

丹波国ノ日ヲ出頭ニ後僕一人ヲ遣シ或ハ二僕ヲ
真ヲ方今ヲ鶴ノ八後僕ヲ従ヘ然シ尼臺ノ容色未ノ脱セ
ザルノ説有テ是ヲ以テ急トシ又中下士ハ是ニ和ニテ甘ヲ中ヲ
浩猶ノ八ノ術ヲ至急トシ又中下士ハ是ニ和ニテ甘ヲ中ヲ
取リ四夏ノ臆説ヲ破スレハ開化生ノ道ニ三度驚ク

○五月八日 越田大宮一ノ長表 前ニテ流俗ノ馬ノ塔数ニ
七月ニ帰ル天 アリテ頭ハ大髪ニシテ鉢巻ヲナシ
紐木綿ノ如ノ横皇様ヲシテ馬ノ口ヲ
取アリ 傍観ノ者三三ニテ 後面ハ越田ノ遊女ナリト

○東海道ノ内三元間宮殿様ノ御家来
石河殿家来
大賀様海道
政ノ外ニ
我ニ
両親ハ
三日ニ
其如ク
中ニ
両親ニ
上村某ノ
両方ノ
桜川某カ女ヒ
沼津ノ
弥吉女
知ル
桜川女
捨申
我カ
捨
又元
当月
諸用ノ
支ヲ
閉ル
我カ
仇ヲ
又
大
仇ノ
大方
昼

○四日本早通下ル　切樽鳥羽ニ
真先ノ鳥羽ニハ長刀ノ鍔時　天神流長谷勇方
時樽ニ其請不供ニ　合乗
況ノ鳥羽ハ若昌邪ハ　斬髪ニテ
次明鳥羽　十歳ヲ
西樽ニ左ニ
津田知歌　文参事
海端　保頼

○五日　津鳥　白塙　九草軒
書面　奉
　　雪堂

先ニ記ル白塙ハ大和
陳縣　孔子ト有リ
　　雜ニ拜票仕ル

上総
　　田
　　中
　　遠

備前之者ハ名已ニ發シ到リ去ル處山下ニ於テ兼撫仕ル太平日[illegible]早

之ヲ作リ竟ニ其年来[illegible]之者涙家汪運ヲ揮テ珍忠之事

復讐ヲ存シ御大典会ニ抱ヒ[illegible]殿[illegible]忠シ[illegible]皆

等ハ忠烈光启ヲ忘レ遂ニ及所業中ニ決シテ不恐ヲ慕

孔子之所為ニ従ヒ尚情形[illegible]沢ハ[illegible]上[illegible]

瀬[illegible]而[illegible]上[illegible]猶[illegible]

明治四年未二月晦日

岡山藩士族
以ノ凡役馬元役
村上六郎
義津 廿三

帝[illegible]藩士族
村上隠居[illegible]倅
村上行造
義展 廿一

生[illegible]県士族
池田[illegible]元家来
池田[illegible]元[illegible]
村上四郎
正路

池田[illegible]元家来
池田豊[illegible]
想[illegible]

未三月廿日所聞

五條県御役所 江参加之

貫属[illegible]三男
池田長気也 二十二才

同 四男
村上四郎 二十一才

同 五男
村上行造 廿八才

村上六郎 廿五才

助右衛門直輔[illegible]
津田[illegible]

助右衛門[illegible]人
水谷芳三郎
新井復造

（水谷芳三郎
兼田[illegible]
新井復造
右三人 助右衛門）

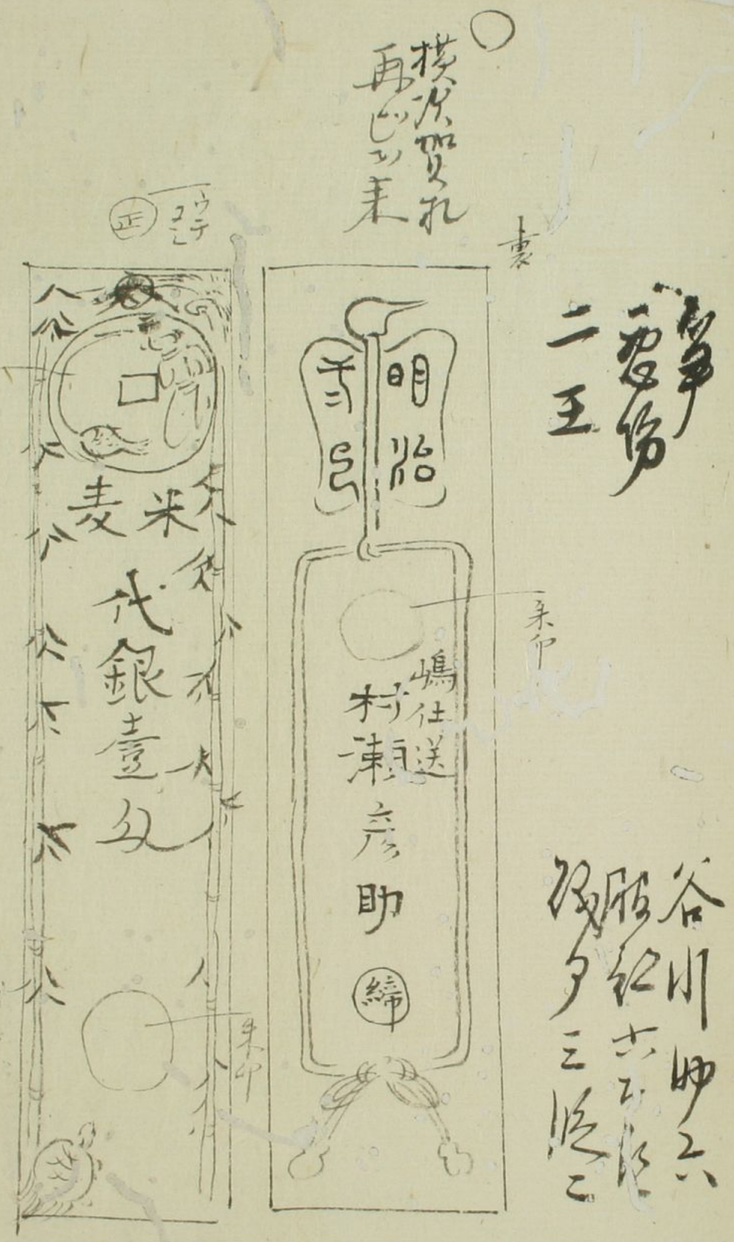
村上直輔、
二 男 [illegible] 病死
男 切腹
男 [illegible] 論 [illegible]
同直輔 闇殺ニ付 [illegible] 男 [illegible]
右之者 法服切ニも 候
[illegible] 室山 [illegible] 一 [illegible]
[illegible] 二 [illegible] 右 [illegible]
小 [illegible] [illegible] 右 [illegible]
一二石 [illegible] 切腹
自殺 病死

西川 [illegible]
[illegible] 藤 [illegible] 死
[illegible] 田 [illegible] 太
[illegible] 郎 [illegible]
[illegible] 三 [illegible]
[illegible] 村 [illegible] 太

○五月廿日 早川 [illegible]
[illegible] 目 [illegible]
三十四郎 [illegible] 千歳
加茂 大津屋 [illegible] 西村 [illegible]
石井 [illegible] 吉田 [illegible]
[illegible] 河田
末 [illegible]
清水
花道人 [illegible]
[illegible] 新
野宮 [illegible]
[illegible]
[illegible] 家三郎
法 [illegible]

かも 久吉
山脇 [illegible]
園部 金八
浅井 金太郎
吉田 六郎 [illegible]
柳川 [illegible]
山脇 [illegible]
村 [illegible] 三郎
[illegible] 三郎
[illegible] 三郎
吉田 理三郎
山脇 [illegible] 三郎

井杭
胸衆
阿方角
内田豊作
源侍
崎田登八
丹羽宗吉
萩大名
塗師
鞍馬寺
善知鳥木仏源左
保阿
内海氏
崎田登八
理兵衛
丹羽
北村
又三郎
戸田孫右
門
又右
柳川宗吉
影政
校郎秀右
仁右衛門源左
丹羽
伊左
影政
山服和泉
子歳
三人行己
春日
影政
源左
山服
和泉
影政
源左
山服
和泉
男四
時
正長元年
秋
影政
源左
三郎
地蔵寺
ひく
宗左
衛門
寺
大仏
水地
兼源
長
仁右衛門
健
仁右衛門
源左
又右


明治
村瀬
助
麦
代銀壹分

○五月中旬ニ化
団扇張ニ出ル貝塚紙[redacted]の紙
一藤波蔵費候
一浄未撰ヒ被下候ハ十三年前倫ニ候
一男女立幕下判定候
○五月[illegible]
[illegible]
大吉[illegible]
○[illegible]

辛未小新聞抜書四号抜
五月十日ノ事ナルヤ服部大属宅ノ梅樹ニ
大サナル蛇掛リ居シヲ捕ヘ尾ヲ縛リ置キ畑
草ノ膏ヲ頻リニ嘗メシム数回ノ後ハ畏縮シ
テ死セルト見タル如クナリシニ属又嘗メシメントシ更ニ
立寄リタレハ蛇忽然ト頭ヲ挙ケ大属ノ手ノ
拇ト食指ノ間ニ咬付キ振ヘ共引ケ共離レス
ロヲ裂ントスレ共開カズ如何ヒスヘカラス力ヲ
窮メテ手ヲ引タレハ咬付タル所ノ皮肉共ニ
断ヘタリ属大ニ怒リ終ニ之ヲ打殺シ又ヲ
以テ寸断ニニナシ帰テ席ニ座ス忽チ小蛇

アリ軒ヨリ下ル乃チ折数ス暫アリテ一蛇床ノ下ヨリ出ツ又幾数ス已ニ殺セハ又出ツ暫時ニ数匹ヲ獲タリトソ奇怪ト謂ヘシ

○名古屋ノ形勢

輔ノ郡ニテジヤキシ瓦ヲ銀瓶ヲ廉シテ金弗ヲ用ユ

○人力車

府下近来人力車盛行シ名古屋ヨリ官驛迄ニ百四十輌アリ此地ハ人家ニ八幡町ナル十数井ハ上某東京ニ人乗ノ人力車ヲ求メ其形ヲ以テ高岳ニ百輌ヲ製ス此費千八百両當月朔ヨリ迄ニ模料貸ニ要スル日ニ付本

両ニ通ニ十八銭迄ノ番号ヲ見エタリ新奇驚速ナルヲ以大ニ流行ス之カ為ニ是迄ノ人力車馬車迄モヤヽ衰微ニ属セリトソ

右新車損料車カノ法被等悉共一日ニ付金一朱二百日以上ハ二朱トノ定則ヲ以テ貸渡ス由是ニテノ駕籠家ハ商売ノ者多ク借受ルトソ

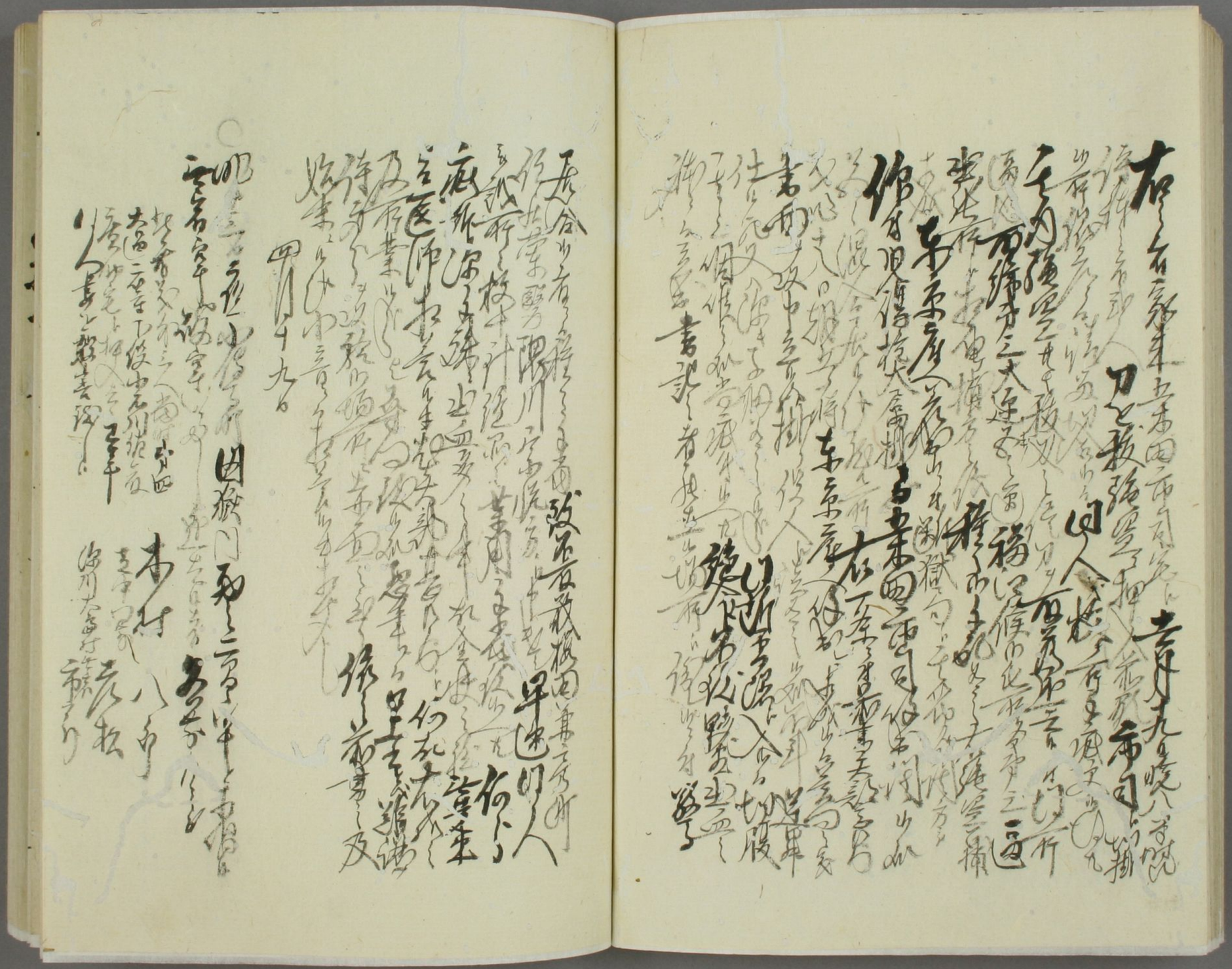
西洋翻譯書類ヲ特借ニ停ラ形ヲ関シモ周旋スル同志ノ輩ニ三ノ名ヲ限社ヲ結ヒ櫻ノ回菅廟内ニ集會セントス既ニ其五七八名ハ盟約セリ社号ハ明治社トモ号センカトノ咨ナリ

愚ニテ右會社ノ起ハ当時流行ニテ三條相公ノトモ此冬北陸ヨリ帰ルトソ

肥前平戸より帰府之名遊文学生等文学教授
教授則設草又へと下走言と教授
所下中々議論アリシトソ何サマ当時
同化人文風八平戸流人道学者流ニハ
アマシトノ説アリ

○三日敬小路家徒弟出来帝高日牙奥羽出張ノ川名
詩ヲ招魂祭者ニ詩ヲ詩ヲ等別
東京新聞ノ正月ノ徒賀詩高松根
右贈正位鍋島直正出来獨別
入ノ海ノ海ノ
若ノ

○
世ノ
雲乳
上海
水戸
敬
一
平戸
敬
別



五客一朱　一人前二朱
横濱のようこう文字さま初め四
名所と英國の序言
料理
第一川と八福屋
第二朱と得ます
置屋城の東
陵合寺の隣
双鶴樓
泉吉

○五月十五日晴 冰練検査

冰練検査 受者 五十五人

第一試 氣息

冰器ヲ氣ヲ吞ム 所作ヲ嫌テ相手ヲ 捨ル人数十人ニ 第列

長短ヲ以テ茅科ヲ定ム 含ニ氣ヲ浴ス氣息

但三十秒ヲ以テ度トス

第二試 舞鶴

検査 各名流ノ離六天コトニ頂ヲ尾ヲ正ス 十五間

程ノ輪ヲ投手ヲ以テ茅科ヲ定ム 游キ回リ燈籠ノ形ニ

三周ヲ巧拙ヲ以テ茅科ヲ定ム

但百枚ヲ以テ度トス

第三試　潜泳

船上ヨリ遠ク潜泳間数多寡ヲ以テ等科ヲ定ム

但　二十間ヲ以テ度トス

第四試　急游

十五間船ヲ出ス二付ヲ建ニ以テ相手ヲ抜ニテ最ニ往復ス等科ヲ定ム

越八未ル遅速ヲ以テ

但　五十杭ヲ以テ度トス

第五　立泳ニテ扇面ハ文字ヲ書ス游姿美醜ヲ

扇面

以テ其科ヲ定ム

但　三字ヲ以テ度トス

餘技

戎服ニテ銃ヲ負ヒ流川ヲ渡ル

吾妻流

但　五十間ヲ以テ度トス

以上

未負

巧

成

入

當中

時

上

百

新

吉

文新ヒ
流行ヒ
世上の名

左右競

斗御前

五月十六日庶物社

東京芝口
鳳喰煮豆
其外新製煮豆數品

右ハ毎日より二日ニ
麻布ニ上ル

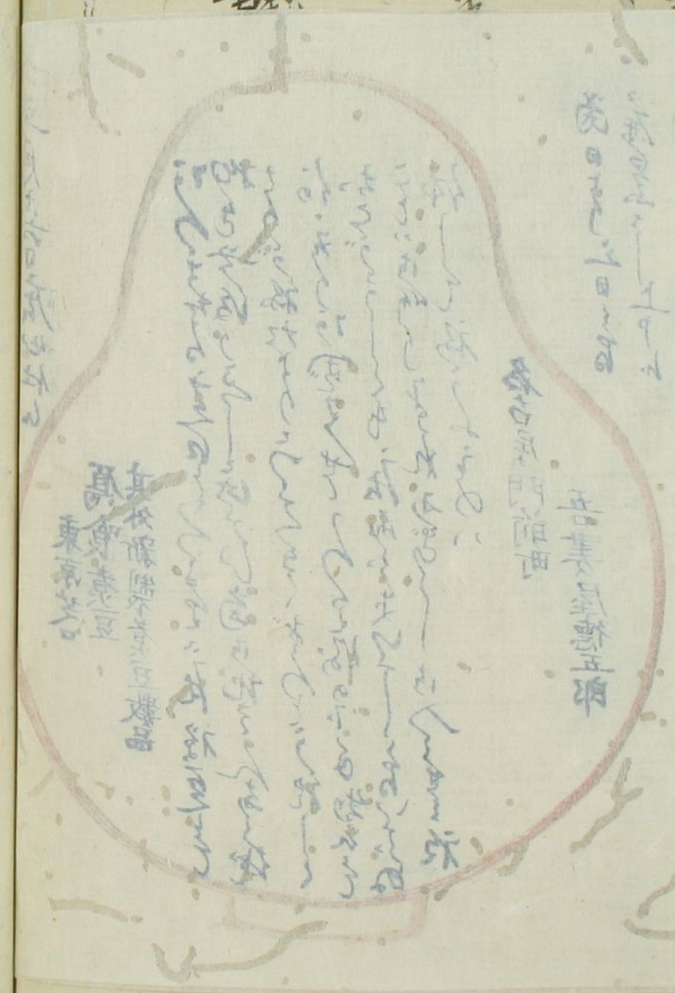
名古屋門前町
吾妻屋德五郎

第三試

船上方面之潜源岡枚多

二十引為受之

寡カナ以テ等科定ム



未負新版

成

入口車早走

當中村座集會

年寄車職人

時

上の冨士見

百人作拜殿

新吉原萬燈

御屋敷内幕張

道一心講の庭奉納

ちゝ母の見世物

御免迄と言ふ

西国のあだち

西洋の書物

寺入後青物

ちゝ母の後幕

西国ゝ川体

猪

馬

風景色雪景

矢尚まつり

左右競

さゝ母ゝ

西新井大師

斗御前

王子稲荷 仲山祖師

傳通院觀音

右 東京諸講 今 當 出 大雄寺開帳

四

自牛車の事

當中寺の事

大光明寺

御殿山花見

御憂国の教

王子の車引

紅人見世

御紋付の提灯

外神田の芝居

西洋の酒

素人俳句会

せんべいの色替り

浅草川まもり

道中のそこかし

御ぶつつり

御茶屋

ひなのいり

鳥ちゃそば

一せんめし

辻のあり

後まんじゅう

仲仙寺の名

ちゃうちんあり

ちゃうちんあり

(鼠帝佐筆記)

行流

自東海道伊勢参宮

解脱寺 法本 寺

自東海道伊勢参宮

解脱寺 法本 寺

行流

自東海道伊勢参宮

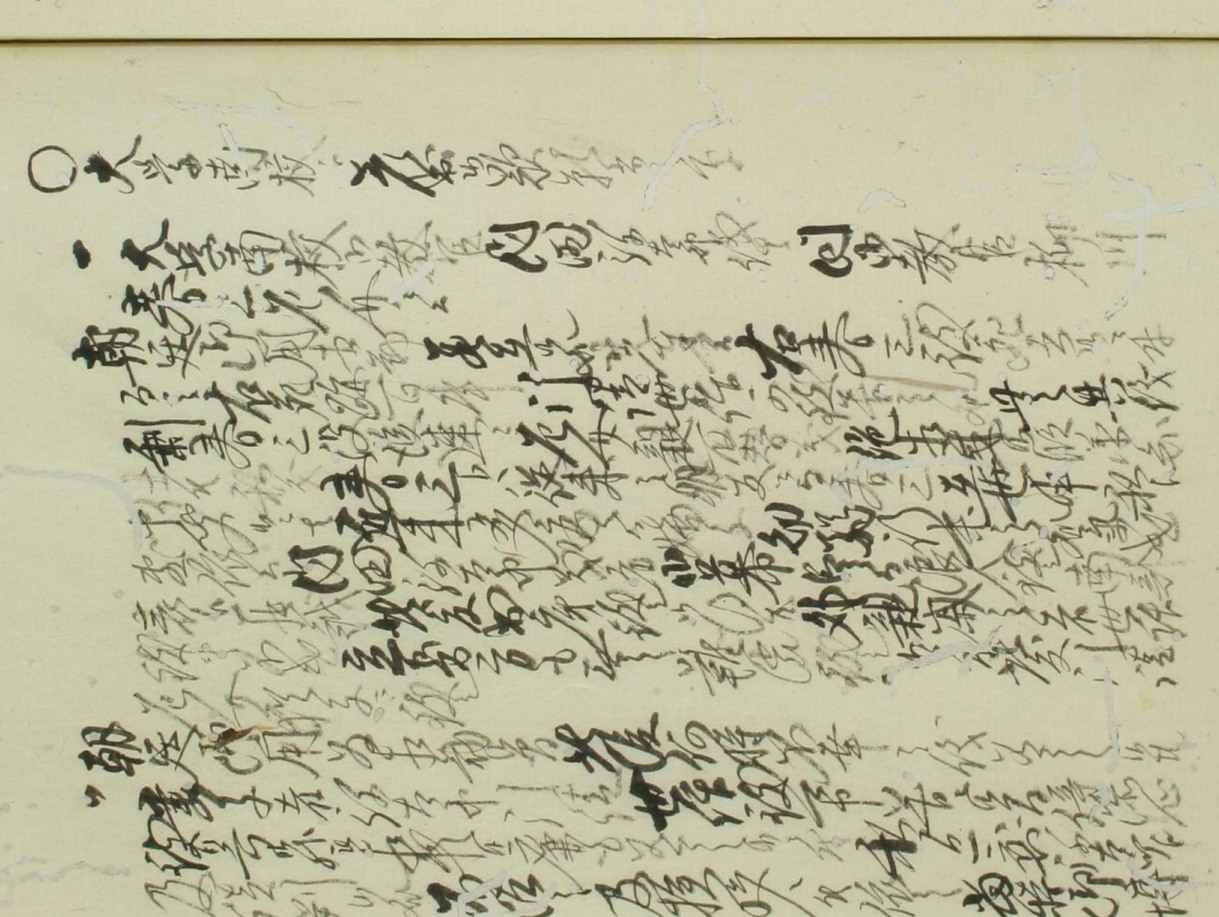
解脱寺 法本 寺

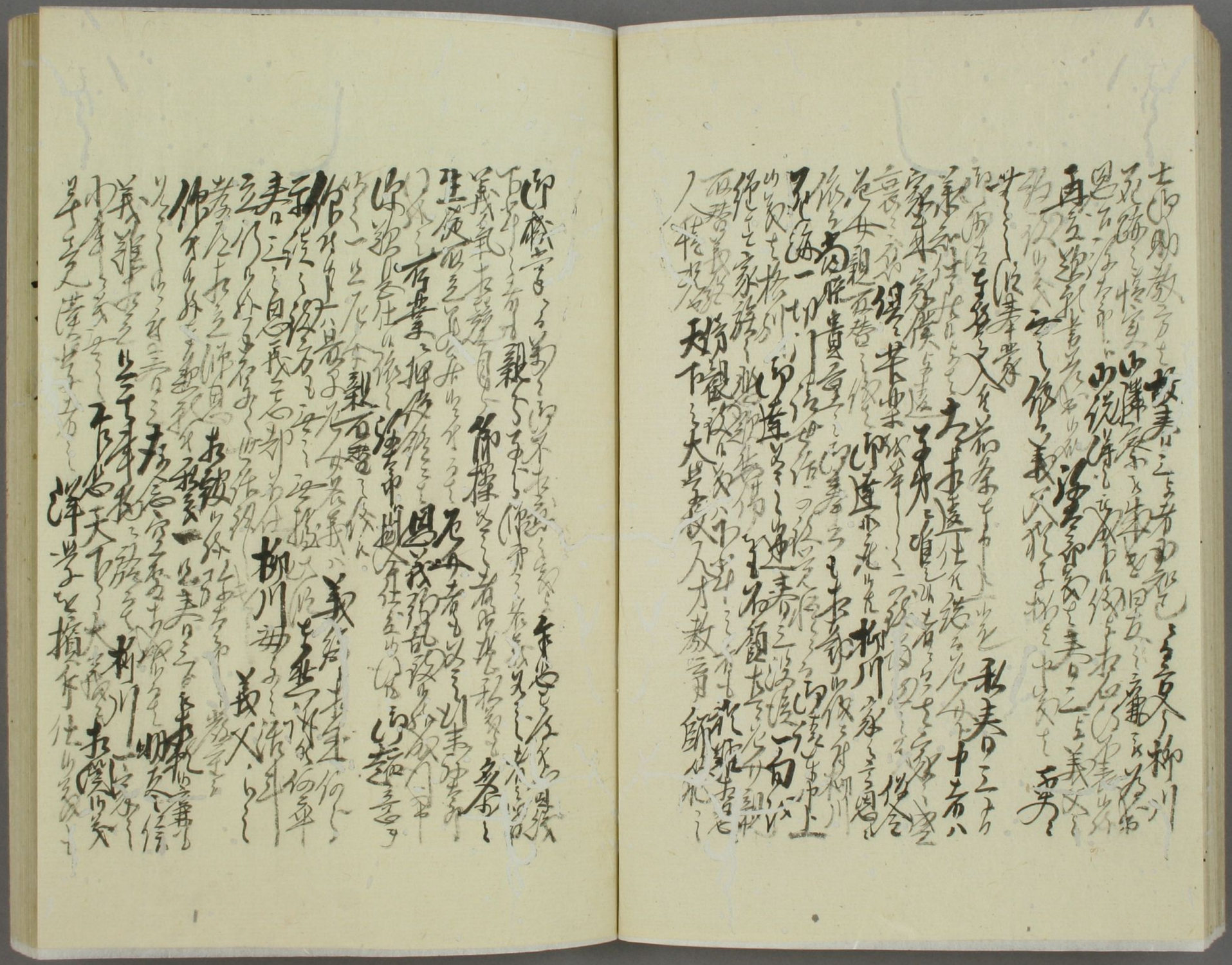
自東海道伊勢参宮

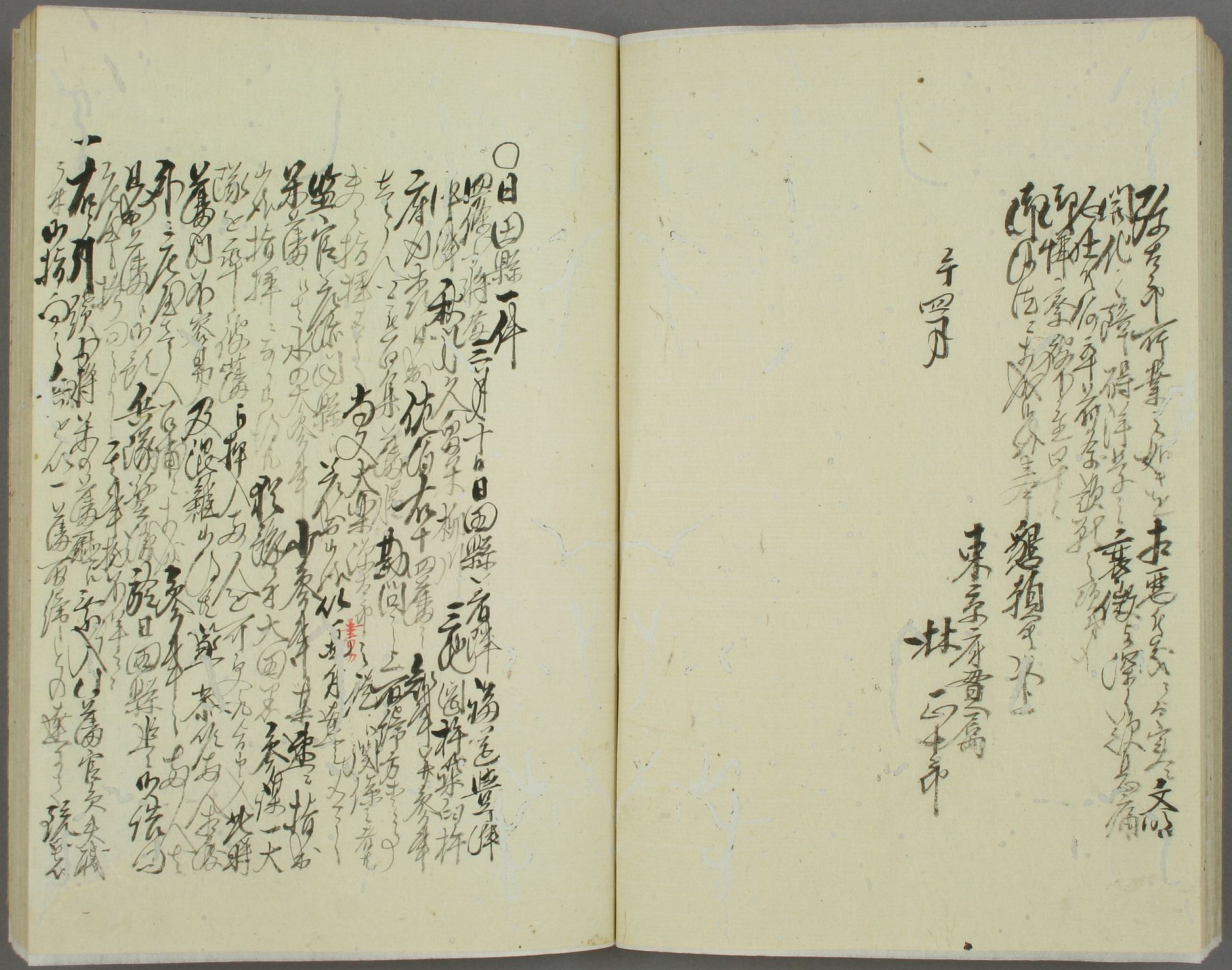
解脱寺 法本 寺

行流

日蝕
苗字
馬車
神道
佛道







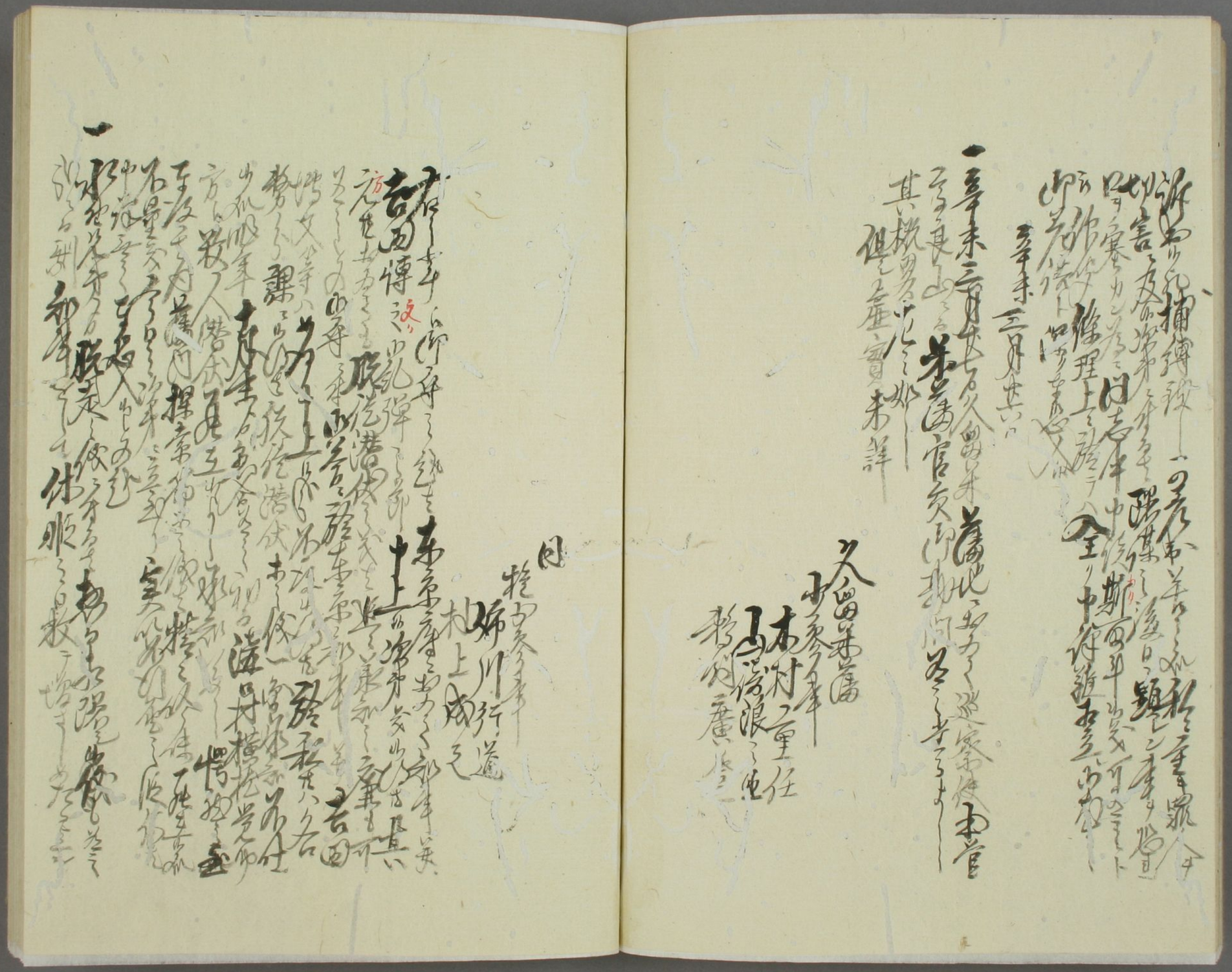
[illegible]

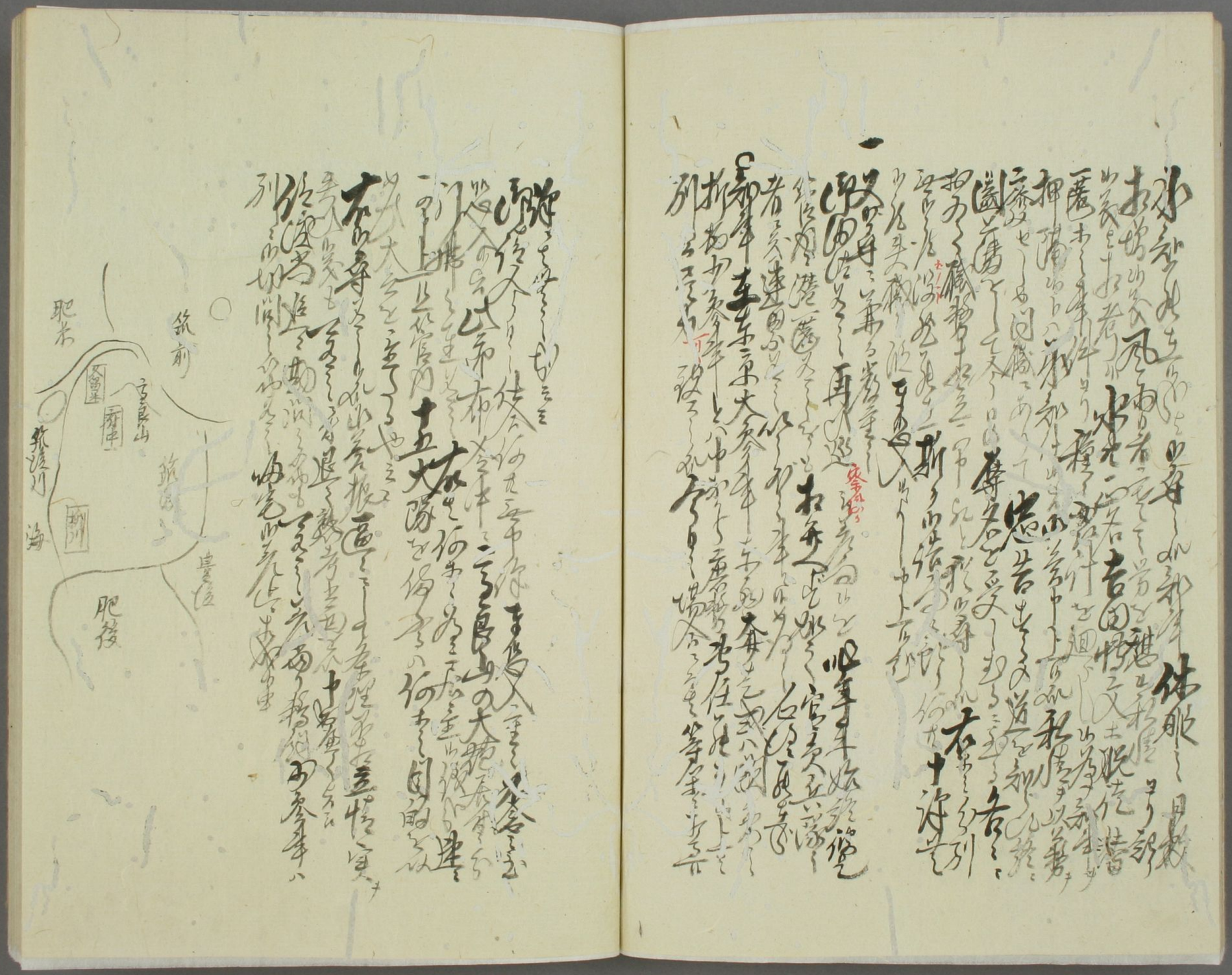
一 [illegible]

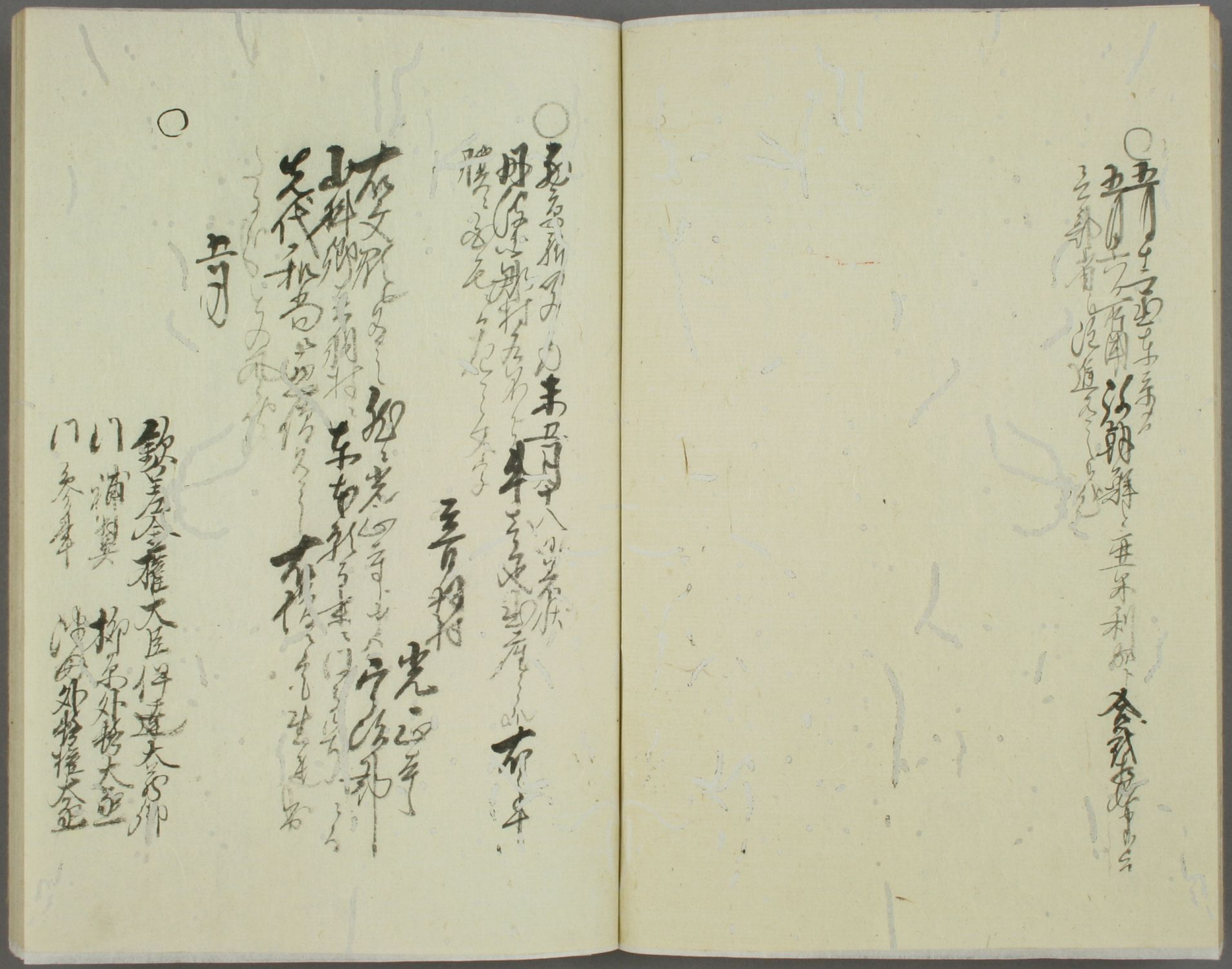
一 [illegible]

○三月廿六日[illegible]

[illegible]




筑前
肥後
肥米
豊後
筑後川
海



上

○東京廣大參事黑田氏ノ作

東京廣大參事黑田氏作

恩澤誠由寛厚化行將及治御斯民
溢乎天下雖之廣舞矣公明正大人
類間利鈍破黑陳三天秘精一貫見神級
美技兼男子勝確乎治廣人

一黑田氏の勝男二首の中に顯
一廣田氏の勝廣大參事の中に

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

○大坂板行

大風 [illegible]後の当

文政天保一時の風雨なりし此二年末の彼板なり人さして

俄かの病苦にて中にも病りしと名ける明治四年丙申

十八日より四日の間なり小風吹

[illegible]

風雨はげしく諸木の枝葉の[illegible]

風雨なくつもり[illegible]

まくりたる明治[illegible]言に及ぶ[illegible]

夜八時[illegible]追ひと[illegible]

きるの上思ひのわ一時半[illegible]

大小船くず[illegible]

[illegible]

十九日の[illegible]

実に大平のありがたき御代とおもひめぐらし[illegible]

古今に

未だかくのごとき大風もつのれば家と[illegible] 大風

心斎橋南久宝寺町辺家二軒半くずる〇道頓堀[illegible]舩損じ〇蜆川小倍西おれ大井にくずれしる〇大江[illegible]尼世西小形吹飛ス〇小の新地家大井にくずれしる〇堂じま[illegible]丁目[illegible]所前に小屋根吹飛ス〇[illegible]吹飛ス諸のだし〇東二軒半り吹飛ス〇木津南堀切

〇難波新地尼世西小形〇[illegible]吹まくる〇日本橋辺新地大[illegible]屋根吹まくる〇玉造り[illegible]大あれ〇新川[illegible]大あれ〇今宮天下茶屋新家[illegible]大荒れし

〇神戸(コウベ)にて弁才船九つ[illegible]内町[illegible]浪打上り廻舟三十艘打上ケ[illegible]二十般[illegible]打上ケ浜家二千軒[illegible]流[illegible]家損五十[illegible]

〇兵庫右同様浜[illegible]二千軒[illegible]あれ舟損[illegible]

〇岩田右同様大あれ[illegible]一ケ所

〇西の宮式社辺大船打上ケ[illegible]

〇堺新地[illegible]浜辺大洪水諸人家[illegible]あれ[illegible]茶店[illegible]流新地へ入込人家床[illegible]上り[illegible]町[illegible]助ケ船多く人助ケ人[illegible]

〇大和川西[illegible]新田堤切レ人家十八軒有[illegible]四五[illegible]のこりあれの[illegible]

〇安治川[illegible]新田大[illegible]

[illegible]大[illegible]八寸[illegible]足形三間[illegible]異人舘の[illegible]又神戸[illegible]社の天井[illegible]

○兵庫神戸大荒

十八日ヨリ十九日大荒吹ノ所ニ依テ突浪起リ

和田新田知辺四加賀五六人計大沙和田草川高

也米蔵被指其外大深濱人多不残行方不知大船

小船破ル中上ノ四五百艘難船難船ニ成五六艘ヨリ

莫大ニ成三百艘破船ニ成

流失濱際一丁計ヲ隔テ五六人朝ヨリ夕方ニ

神戸ヲ回ル道通ル七八歩流ル大荒

高船二三百艘是又ヲ下ヲ死人怪我人多難ナモ

濱通ル大荒ヲ知申来ル

或説ニ神戸ノ船一艘破船ニ乗組

百人ヲ以三十八人即チ九人ノミヲ是ハ三艘ノ

○来る四日市松坂ヲ経テ伊勢ノ一市ヲ立テ迫間ニ至ル豚ノ一市ヲ立テ

式日　毎月朔日

但雨天ニハ日延ス

鳥羽津　水戸社

別紙

六月朔日初會

岩田平　若狭屋兵衛

○武州

神奈川表ニ異国船来ル十日ノ夜ヨリ翌十九日ノ夜ニ至リ大風雨ニ成リ其

当日ハ暴風ニ成リ高波数度ニ及ブ左様ニ荒ク以ノ外ノ大風雨ニ成リ其

勢ハ暴烈ニ成リ雷ヲ響ハシ稲妻ヲ走ラシ其間ニ諸方ヨリ出船ノ損傷

迫ノ間ノ事ニ有之ト云フ

十二日ニ至リ港内ノ海水ハ二度ニ押ヨセ外国人

居留地ハ三度ニ押ヨセ

辛此水ハ二度迫ニ至リ長サ二尺程ニ成リ

国人居留地ハ九神奈川ノ東手ニ最モ損害多ク

海岸ハ船庫ハ水没ス人ハ高貴ノ貴賤ニ拘リ

悉ク海ニ流レ出ス

小川ニ架リ居リシ橋ニ成リ

国人ノ所持ス品数

金銀

元ヨリ間表ニ方ノ吹ハ今ニ異儀ナシ

港内損傷ハ

金潰レタリ

以外

夷船共ノ

○去ル十月廿三日ノ夜ニ日本ノ蒸氣船ニ艘其外国ノ蒸氣船ニ艘合四艘破損ス
日本ノ蒸氣船ニ艘ハ乗組ノ人命ノ死亡ハ無キ由ナレトモ其ノ内ニ兵庫ノ方ハ
和蘭船ハ船頭ノ人損ス高九百五十石ノ内九百五十石ハ破壊シテ無業ノ成ニ
神戸ノ方ハ船頭ノ人損ス高九百五十石ノ内九百五十石ハ破壊シテ無業ノ成ニ
備前有大小ノ日本船ハ合二百艘ハ破壊シテ無業ノ成ニ
人命ハ死亡ハ若干ノ事未タ詳ラカニセス
百人ノ死亡ハ三百人ノ内ニ怪我人ハ其数ハ多分ナリ
乗組ノ日本船全ク沈没セリ　天保山ノ近傍ニテ水ブツ人
死亡百人計ニ同所ニ有リ川俣村ハ遠ニ離レタル
里ニ流レ出タリ大坂ハ十九日乱雨甚タシク同夜十一時ヨリ
十二時頃ニ至リ暴風東南ノ方ヨリ吹起リタリ其人ノ
説ニハ死亡大凡ニ千ニ至ル事ナリ

右ハ佛國新聞紙ニ載ル所ノ前ノ如シ

○去ル十月廿三日ノ夜ニ日本ノ蒸氣船ニ艘其外国ノ蒸氣船ニ艘合四艘破損ス
日本ノ蒸氣船ニ艘ハ乗組ノ人命ノ死亡ハ無キ由ナレトモ其ノ内ニ兵庫ノ方ハ
和蘭船ハ船頭ノ人損ス高九百五十石ノ内九百五十石ハ破壊シテ無業ノ成ニ
神戸ノ方ハ船頭ノ人損ス高九百五十石ノ内九百五十石ハ破壊シテ無業ノ成ニ
備前有大小ノ日本船ハ合二百艘ハ破壊シテ無業ノ成ニ
人命ハ死亡ハ若干ノ事未タ詳ラカニセス
百人ノ死亡ハ三百人ノ内ニ怪我人ハ其数ハ多分ナリ
乗組ノ日本船全ク沈没セリ　天保山ノ近傍ニテ水ブツ人
死亡百人計ニ同所ニ有リ川俣村ハ遠ニ離レタル
里ニ流レ出タリ大坂ハ十九日乱雨甚タシク同夜十一時ヨリ
十二時頃ニ至リ暴風東南ノ方ヨリ吹起リタリ其人ノ
説ニハ死亡大凡ニ千ニ至ル事ナリ

右ハ佛國新聞紙ニ載ル所ノ前ノ如シ

○去ル十月廿三日ノ夜ニ日本ノ蒸氣船ニ艘其外国ノ蒸氣船ニ艘合四艘破損ス
日本ノ蒸氣船ニ艘ハ乗組ノ人命ノ死亡ハ無キ由ナレトモ其ノ内ニ兵庫ノ方ハ
和蘭船ハ船頭ノ人損ス高九百五十石ノ内九百五十石ハ破壊シテ無業ノ成ニ
神戸ノ方ハ船頭ノ人損ス高九百五十石ノ内九百五十石ハ破壊シテ無業ノ成ニ
備前有大小ノ日本船ハ合二百艘ハ破壊シテ無業ノ成ニ
人命ハ死亡ハ若干ノ事未タ詳ラカニセス
百人ノ死亡ハ三百人ノ内ニ怪我人ハ其数ハ多分ナリ
乗組ノ日本船全ク沈没セリ　天保山ノ近傍ニテ水ブツ人
死亡百人計ニ同所ニ有リ川俣村ハ遠ニ離レタル
里ニ流レ出タリ大坂ハ十九日乱雨甚タシク同夜十一時ヨリ
十二時頃ニ至リ暴風東南ノ方ヨリ吹起リタリ其人ノ
説ニハ死亡大凡ニ千ニ至ル事ナリ

右ハ佛國新聞紙ニ載ル所ノ前ノ如シ

とまく外生和来ナラし

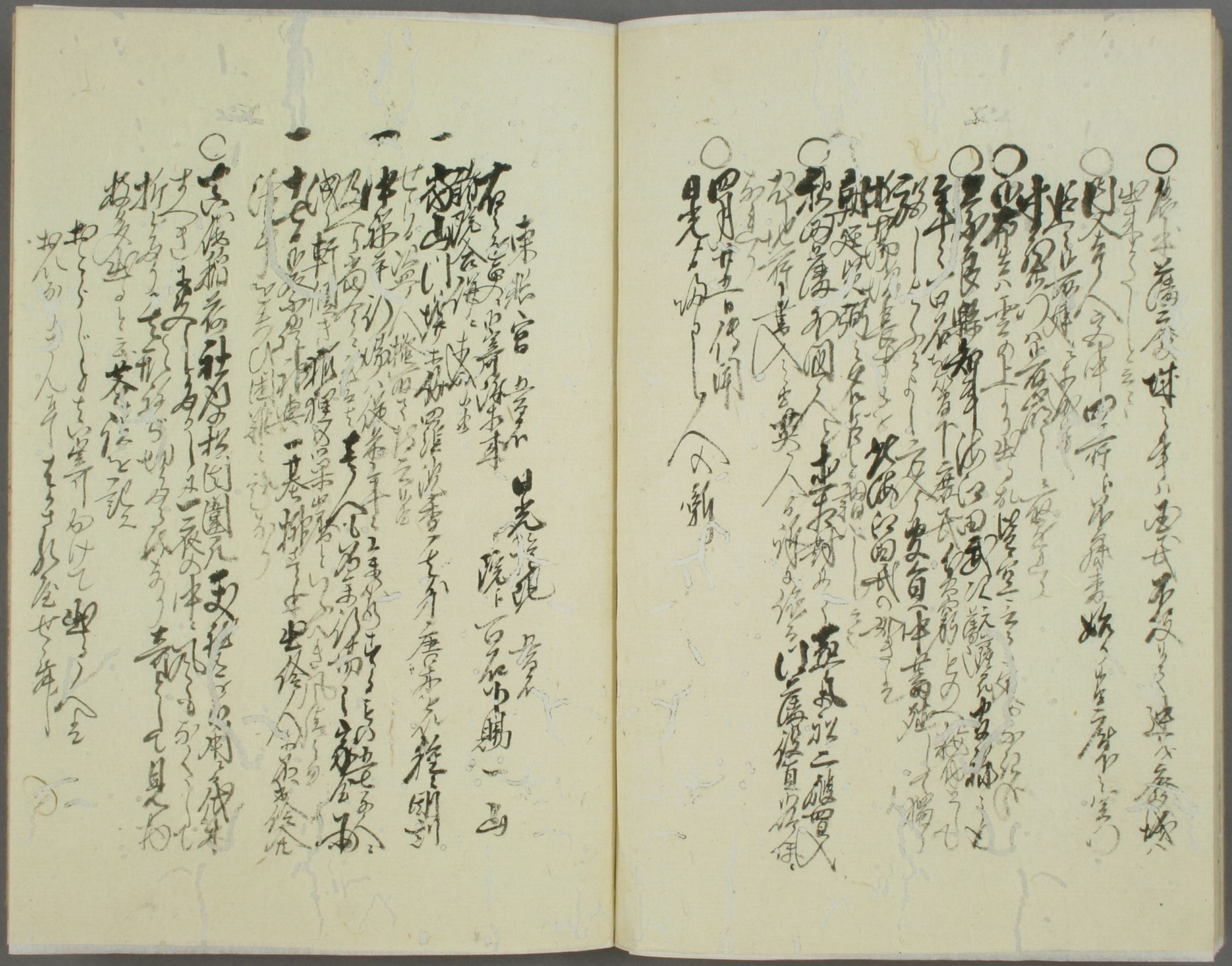
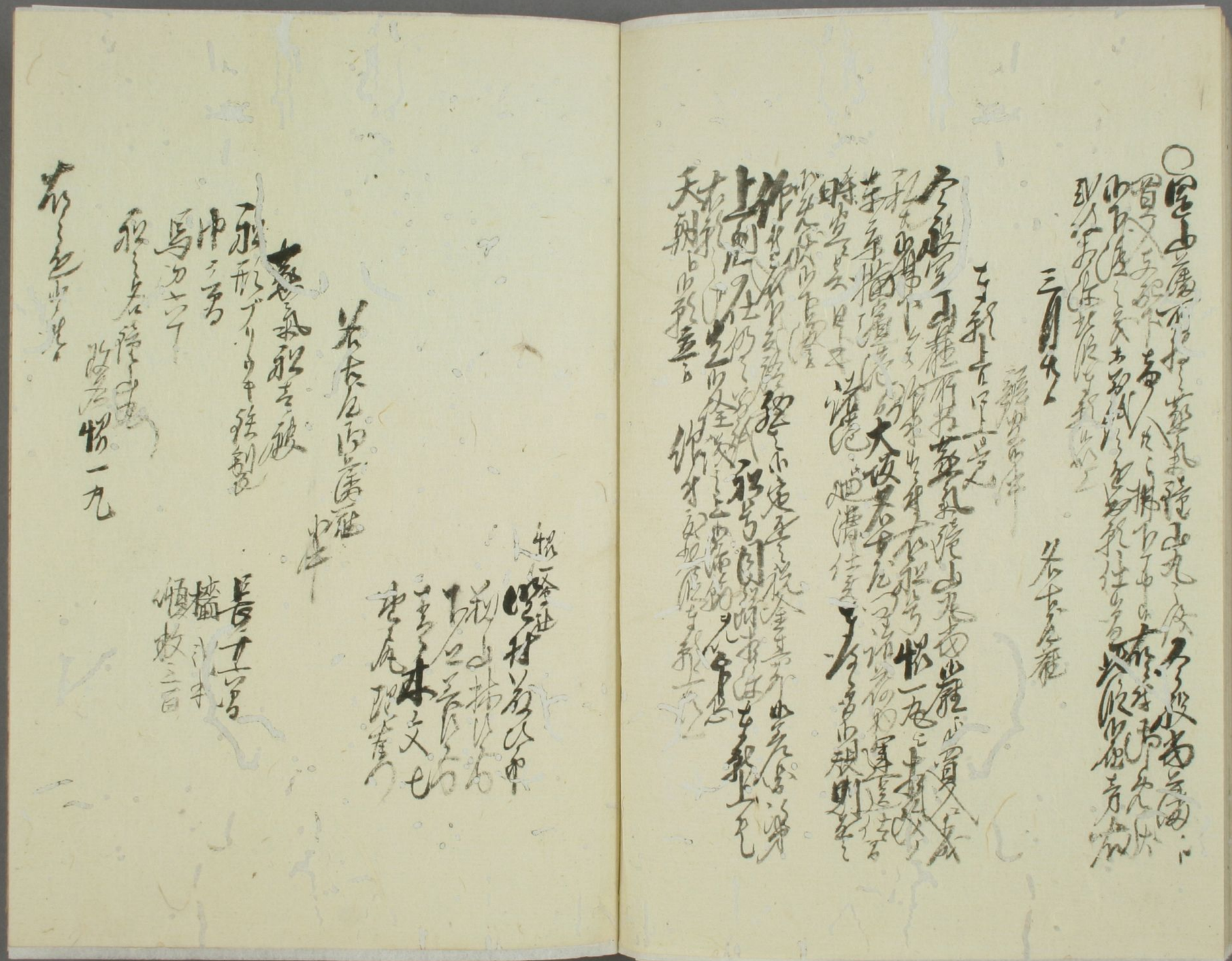
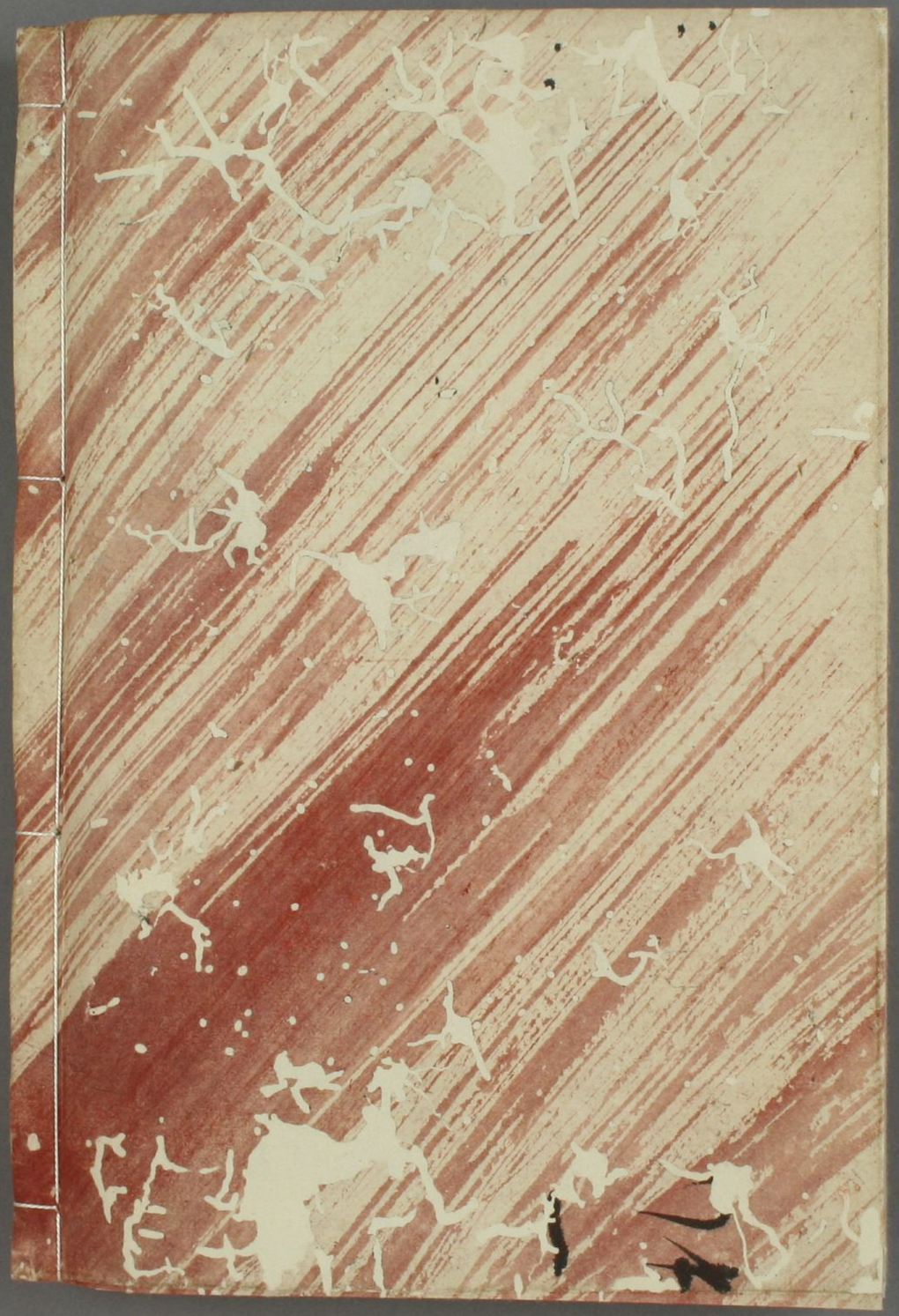
極呈案

昨歳神田錦町ニ於テ南校教師ノ英人ヲ暗傷シ二人ヒニ
某等各互ニ奉動シ承ル所以ナル二関宿藩黒川某杵築藩
以謀殺若干日之二名日本ノ者ヨリ英人ノ刃ヨリ
大抵ノ処罪人殊外ニ酔体ニテ婦ヲ擁シ犬猫ノ如婦ト戯レ
無人ノ形勢故ニ不図モ両人ヲ嫌悪シ怒ヲ発シ識白ノ如ク是モ
自主国ノ人也利ニ拠テ身ヲ洋人ニ任スト雖洋人ノ如キ激モ
甚シキトニ二人ハ瑣細ノ事ト異国辱ノ端ナリ我ヲ蔑視
三人ノ知ヲ以テ試ニトニ及ビ語ヲ合シ地理ヲ量リ洋人居ニ
覘フ洋人ヨリ本邦堤ニ出テ而モテ帰ラントスル処ヲ恐
刻ニ辨セ坂ノ上ニ人ヲ殺傷スル九人ハ己旅所ニ至テ事ヲ発シ下
ナル際ニ不然ナリ寂寥ノ地ニ到テハ彼モ防禦ノ心ヲ生セシ寧ロ
此光ニシテ行人絶ルヲ待試ニ決シ殺刀シテ奴久洋人
声ヲ発シ迎ヘ逢ヒ遂ニ両人ハ再ヒ日本橋ニ走リ
時哉此際鹿児島ノ藩士肥後藩士七八郎ニ三人来リ二

創ヲ蒙リ洋人声ヲ発シテ走ルニ当リ同撃ヲ加ヘ洋人
又全身ニ血ニシテ帰リ携ル者十九洋人三人各ヲ覘ニテ白刃ヲ
者ハ之ヲ見此テ各仕ヲ鏡ニ揚テ銃ヲ以テ迫ル故ニ各深慮
スルニ追アラズ速ニ殺刀文ヲ以テ洋人愈恐懼ヲ逃ス
肥後ニ初テ各モ殺テ事ヨリ好ム二非ス下去テ外藩邸ニ帰ルト云
未ダ刑官ニ及ビ何ホノ所刑ニ處スヘキカ決ニ許ナキニヨツテ
此ノ官省ヨリ八モ不正ト察ヲ出スト云云
弾正大巡察小岸良兼行刑部少丞ニ轉任セラル是ハ今ノ叛
鹿児島藩所刑ノ一件ニ付テ
御褒ヲ賞ナリト云云

辛未三月廿八日英人暗殺人処刑拘済ノ事

二鹿児島藩 肥後縫七

後家
杵築藩 加藤龍太

配流十年
関宿藩 黒川某